

今冬の市場への入札量等について ご説明資料

2021年2月25日

中国電力株式会社

1. 今冬の需要状況について

2. 今冬の入札および約定状況について

2-1. 今冬の入札および約定状況と入札時の計画について

3. 需要想定方法について

4. 特定日の実績差について

4-1~4-5. 12月28日, 1月4日, 14日, 15日, 25日

5. 今冬の燃料状況について

5-1. 燃料受払計画策定の基本的な考え方

5-2. 今冬のLNG・重油火力の燃料払出量の計画・実績

5-3. 今冬の水島基地LNG火力の燃料状況について

6. 市場価格への影響を考慮した運用について

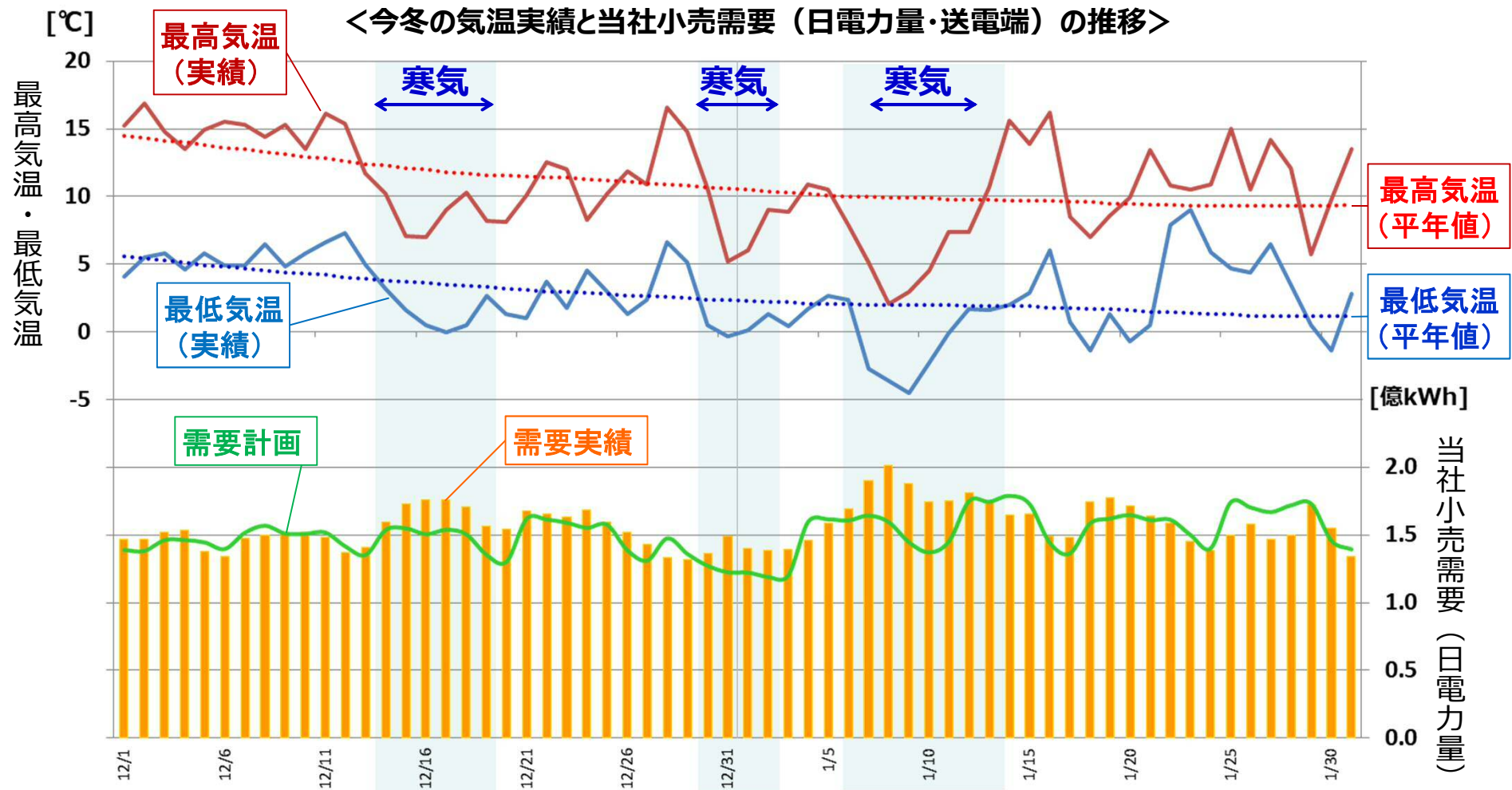
7. グロスビディングについて

7-1. グロスビディングについて

7-2. グロスビディングの実施方法について

1. 今冬の需要状況について

- 燃料計画の前提となる月間の需要計画は，平年気温ベースの想定を基準に，1か月前の長期気象予報を考慮して気温低下による需要増加を織り込んで策定しました。
- しかしながら，12月中旬以降，中国地方に寒気が流入し，気温が平年より大幅に下回ったため，当社小売需要も当初見込んでいた計画値より更に増加しました。



(注1) 最高気温・最低気温は広島市

(注2) 需要計画は当該月の前月中旬に想定した計画値

2. 今冬の入札および約定状況について

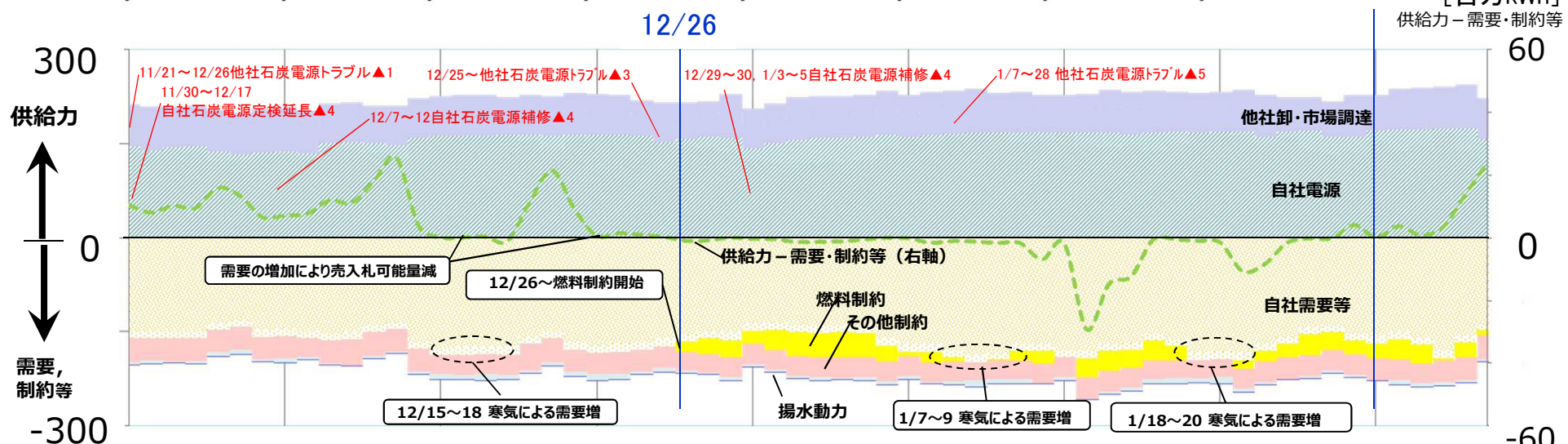
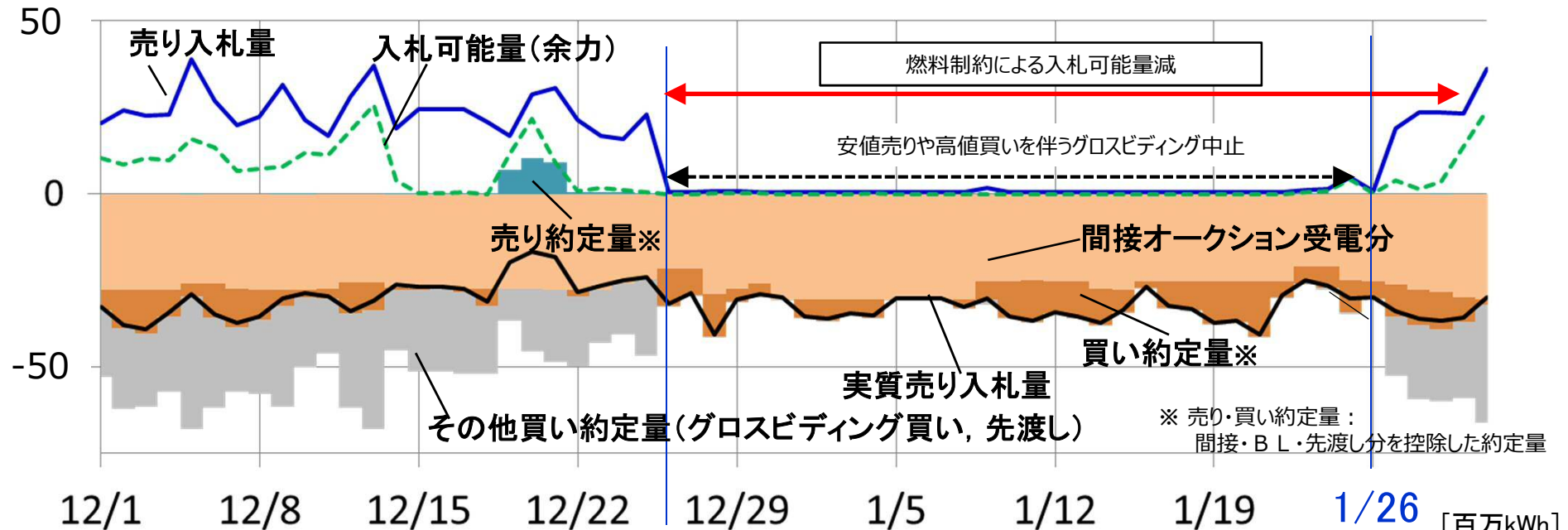
- 当社は中国エリア外から多く受電しているため、間接オークションの買入札が多く、実質売り入札量（売り入札量－買約定量）はマイナスとなります。
- 12月中旬から、寒波による需要増により売入札可能量（間接オークションの供給力を見込んだ余力）が減少しました。
- 12月下旬以降は、12月中旬からの寒波による需要増や電源のトラブル停止、渇水による水力発電の発電量減少により燃料在庫払底の可能性を認識したため、供給力確保や燃料在庫払底の解消を目的に燃料制約を実施しました。
よって、12月下旬～1月下旬にかけ、売入札可能量はほとんどありませんでした。

2. 今冬の入札および約定状況について

2-1. 今冬の入札および約定状況と入札時の計画について

[百万kWh]

<今冬の入札量および約定量 (日量)>

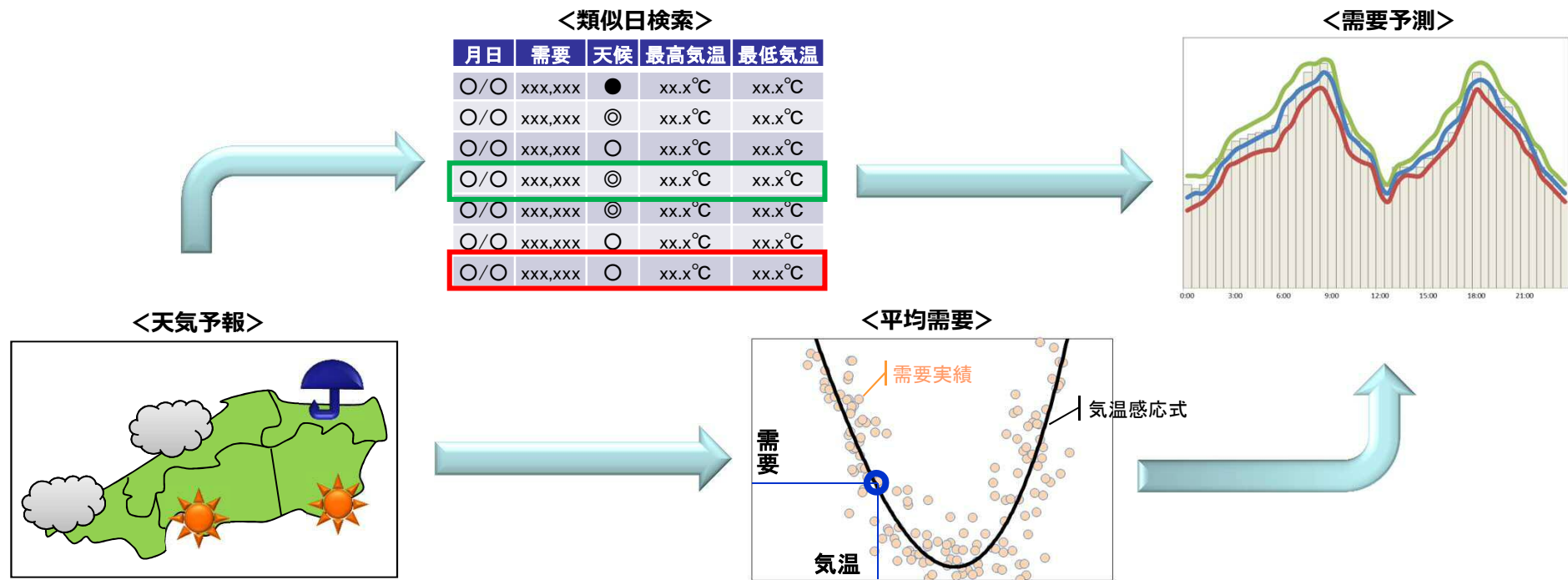


<入札時の需給計画 (日量)>

3. 需要予測方法について

- 前日段階の需要予測は、直近の天気予報をもとに気温感応式※や過去の需要動向を参考にしております。
- 具体的には、下記の通りです。
 - ① 気温感応式により、当日の気温における平均的な需要を算定。
 - ② 当日の気象条件（天候、最高・最低気温等）に類似する過去の需要データを検索。
 - ③ 上記①②の需要を基に、当日の需要（1時間値）を予測し、30分値に展開。

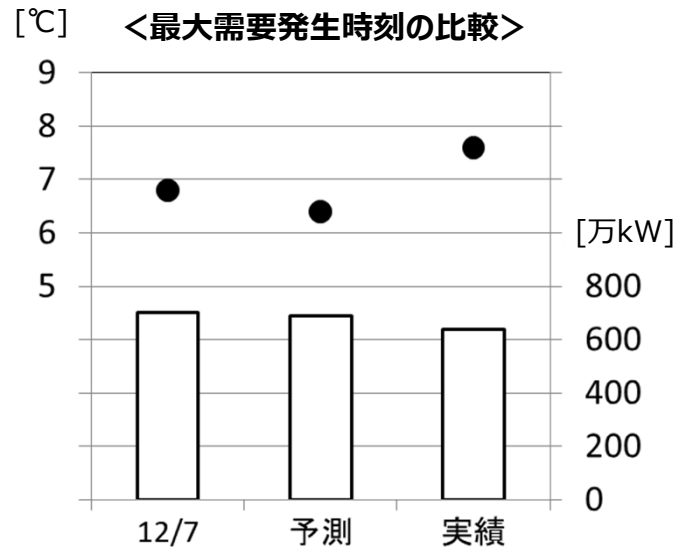
※ 需要実績と気温実績を基に回帰分析を行い、気温1℃あたりの需要変動量を算出し、需要と気温の相関を近似した式



4. 特定日の実績差について

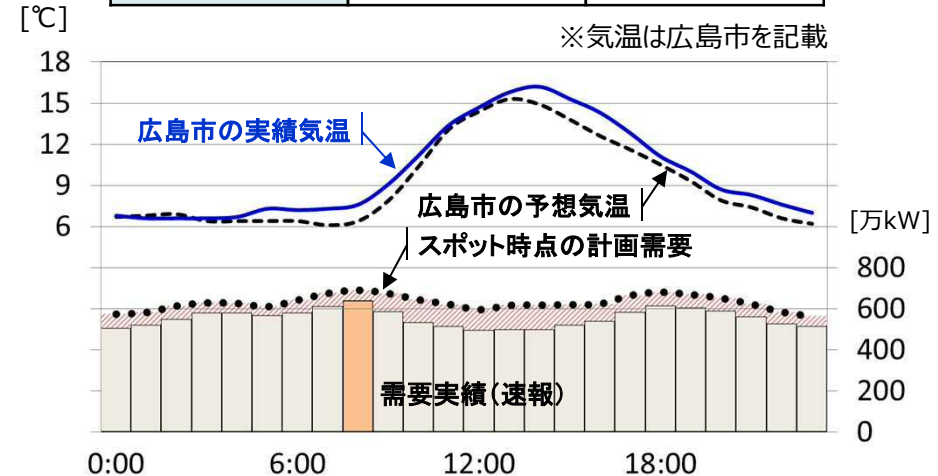
4-1. 12月28日

- 12/28(月)については、参考日を12/7(月)として需要を予測しました。
- 前年度の仕事納めの日となる2019年の12/27(金)は、最高気温が「11.7℃」、天気が「曇一時雨」であり、予測日と気象条件が異なることから、通常の平日ではあるものの、直近の同じ曜日でかつ、気温に近い12/7を参考にしました。
- 予測にあたり、参考日の方が気温が少し高かったため、ベースとなる需要は参考日より少し強めの想定としておりましたが、仕事納めの日であることを考慮し、下げ補正を行いました。しかしながら、直近の気温が平年値より低めに推移しており、気温上昇分ほど需要が低下しないと考え、同程度の690万kWで予測しました。
- 実績との比較につきましては、気温実績が高めに推移したことによる気温影響（150～200MW/℃程度）や、コロナ感染防止対策等の影響により、予測日（仕事納めの日）を休業としたところが例年より増えたことが要因で需要が減少方向となり乖離が生じたものと考えています。



<気温と需要実績の推移>

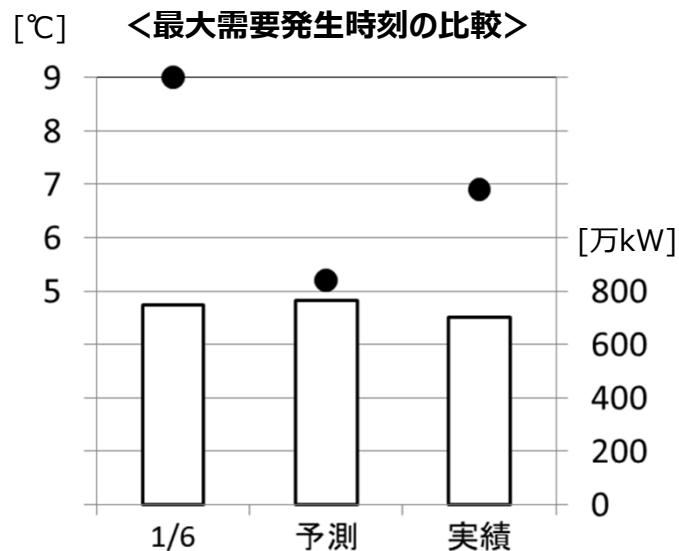
	予測	実績
天気	晴一時雨	晴一時雨
気温※ (最高/最低)	15/6℃	16.6/6.6℃
最大需要	690万kW	639万kW



4. 特定日の実績差について

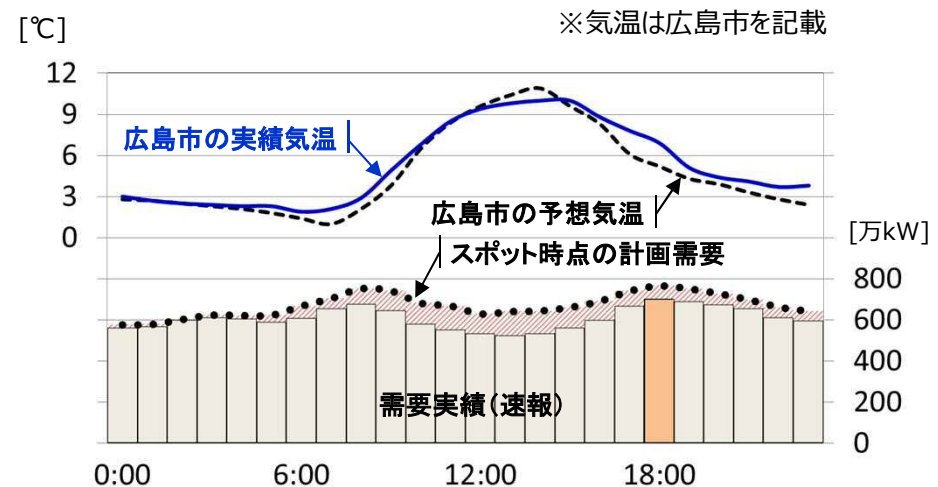
4-2. 1月4日

- 1/4(月)については、参考日を前年度の仕事始めの日である1/6(月)として需要を予測しました。
- 予測にあたり、参考日の方が気温が高かったため、ベースとなる需要は参考日より強めの想定としておりましたが、スイッチングによる前年度からの離脱分を考慮し、同程度の765万kWで予測しました。
- 実績との比較につきましては、気温実績が高めに推移したことによる気温影響（150～200MW/℃程度）やコロナ感染防止対策等の影響により、予測日（仕事始めの日）を休業としたところが例年より増えたことが要因で需要が減少方向となり乖離が生じたものと考えています。



<気温と需要実績の推移>

	予測	実績
天気	晴	晴
気温※ (最高/最低)	11/1℃	10.9/1.7℃
最大需要	765万kW	700万kW

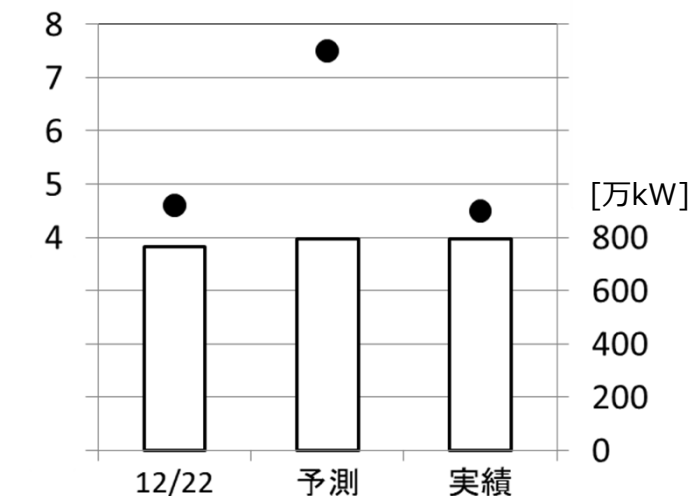


4. 特定日の実績差について

4-3. 1月14日

- 1/14(木)については、参考日を12/22(火)として需要を予測しました。
- 気象条件で類似日を検索すると12/7週のデータに近いが、直近で強い寒気が流入していたことから気温上昇分ほど需要が低下しないと考え、平年並み程度の気温であった12/22を参考にしました。
- 予測にあたり、参考日の需要実績を指標とし、結果として少し強めの795万kWで予測しました。
- 実績との比較につきましては、最大需要発生時間帯においては、予測通りの結果となりました。なお、午後から点灯帯にかけては、気温実績が高めに推移したことから、その気温影響により乖離が生じたと考えています。

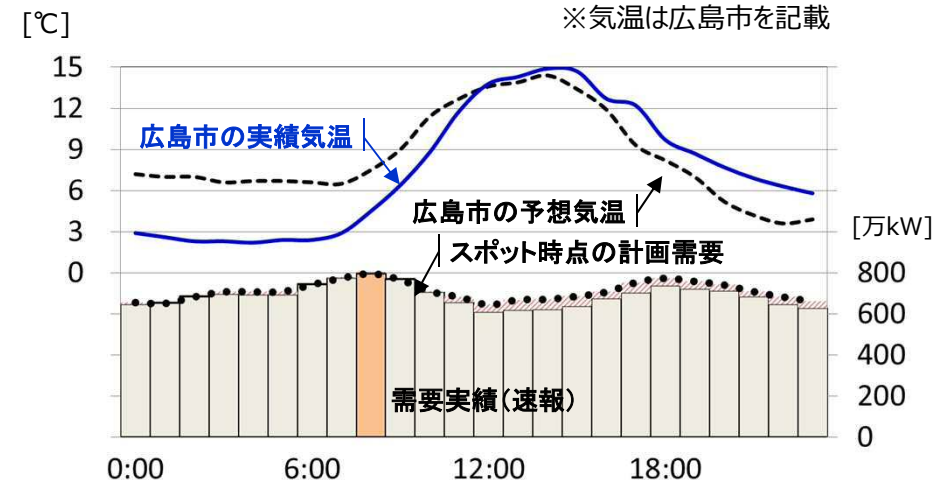
〔℃〕 <最大需要発生時刻の比較>



<気温と需要実績の推移>

	予測	実績
天気	晴	晴
気温※ (最高/最低)	14/6℃	15.6/2.0℃
最大需要	795万kW	796万kW

※気温は広島市を記載

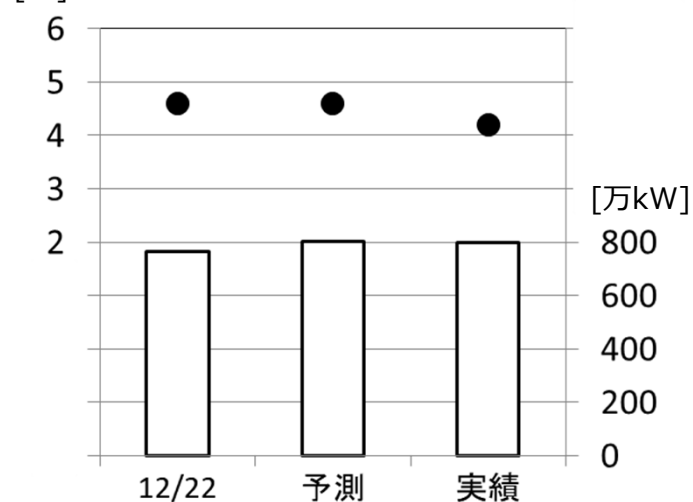


4. 特定日の実績差について

4-4. 1月15日

- 1/15(金)については、参考日を12/22(火)として需要を予測しました。
- 1/14分と同様に、直近で強い寒気が流入していたことから気温上昇分ほど需要が低下しないと考え、平年並み程度の気温であった12/22を参考にしました。
- 予測にあたり、参考日の需要実績を指標とし、少し強めの803万kWで予測しました。
- 実績との比較につきましては、おおむね予測通りの結果となっています。

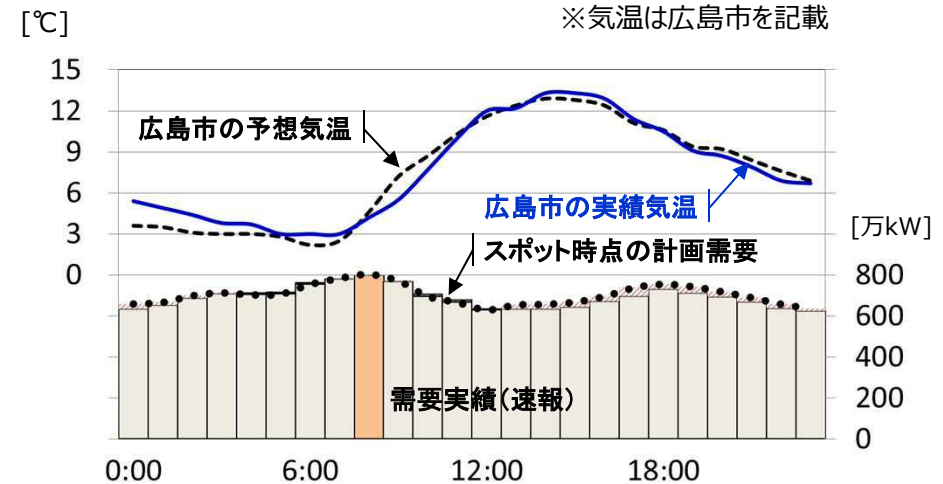
＜最大需要発生時刻の比較＞



＜気温と需要実績の推移＞

	予測	実績
天気	曇時々晴	晴
気温※ (最高/最低)	14/2℃	13.9/2.9℃
最大需要	803万kW	796万kW

※気温は広島市を記載

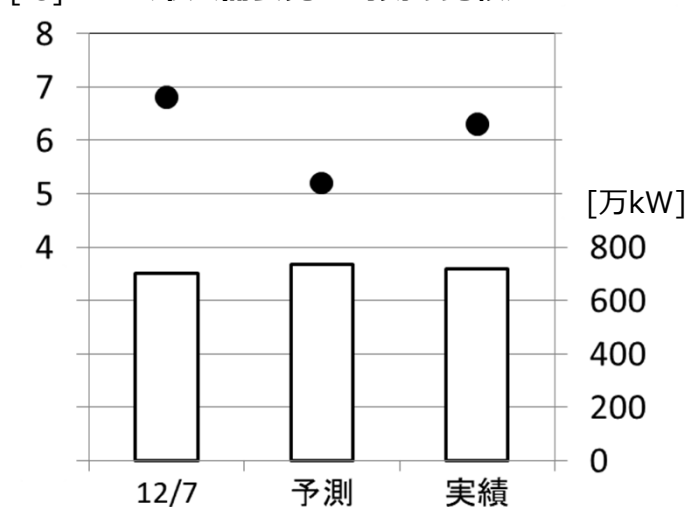


4. 特定日の実績差について

4-5. 1月25日

- 1/25(月)については、参考日を12/7(月)として需要を予測しました。
- 気象条件で類似日を検索すると、同じ曜日で、気温が近かったため12/7を参考にしました。
- 予測にあたり、参考日の方が少し気温が高かったため、参考日より少し強めの想定とし、736万kWで予測しました。
- 実績との比較につきましては、おおむね予測通りの結果となっています。

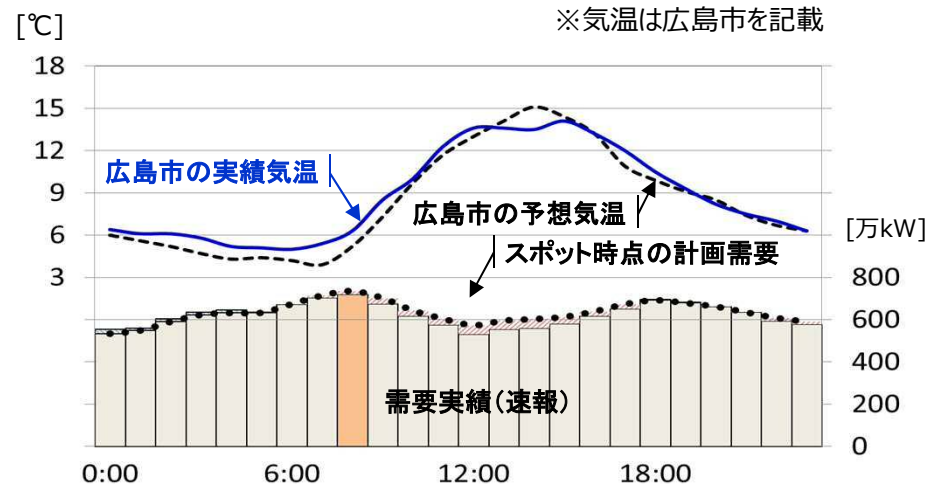
＜最大需要発生時刻の比較＞



＜気温と需要実績の推移＞

	予測	実績
天気	晴	曇後晴
気温※ (最高／最低)	15／4℃	15.0／4.7℃
最大需要	736万kW	719万kW

※気温は広島市を記載

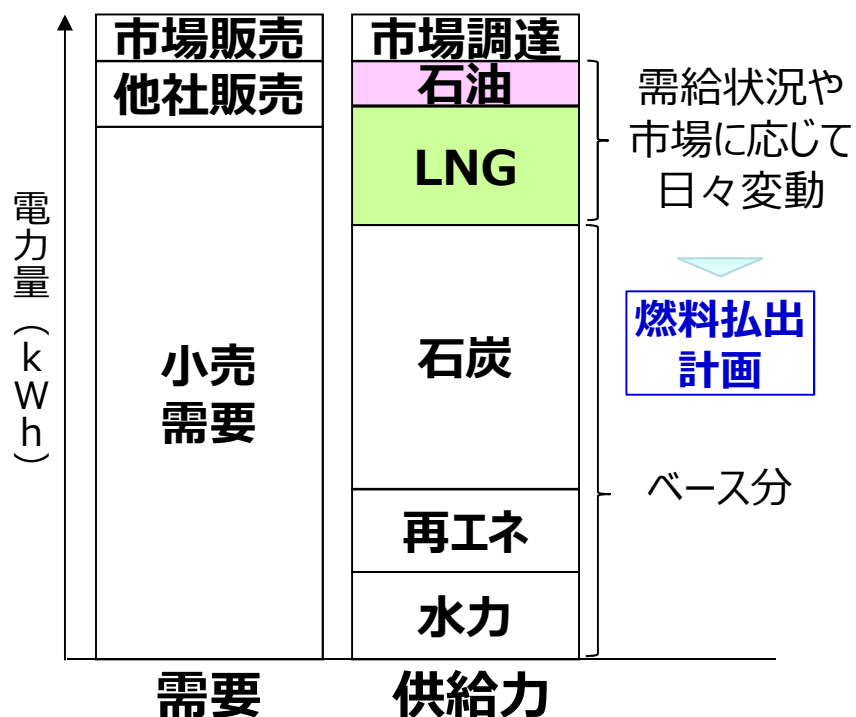


5. 今冬の燃料状況について

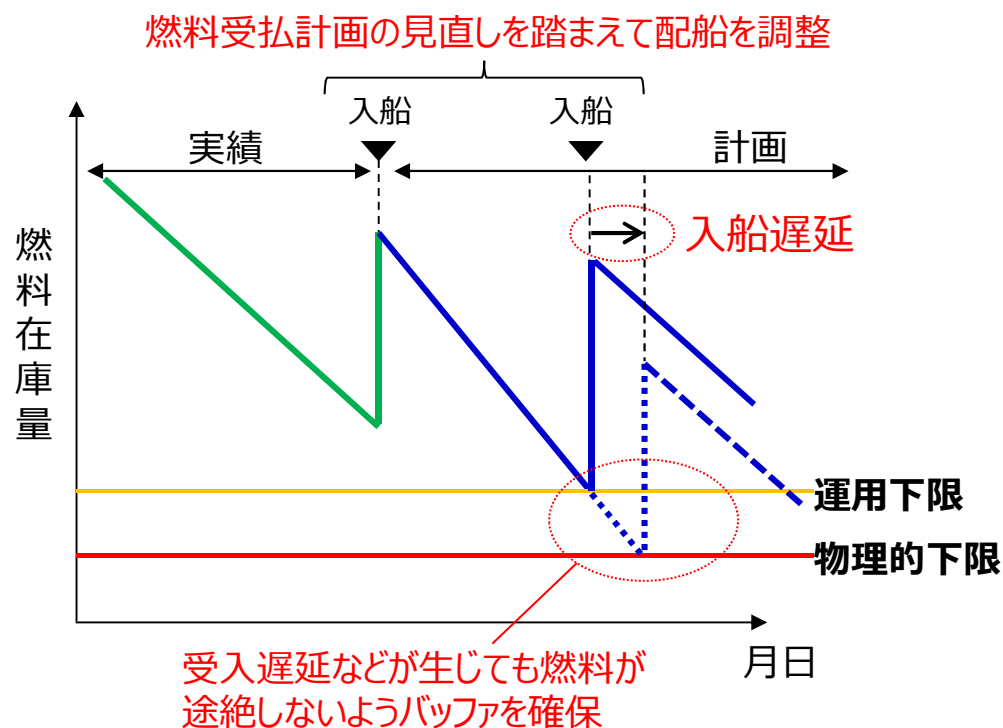
5-1. 燃料受払計画策定の基本的な考え方

- 需要計画に対し経済性を踏まえて供給力の計画を策定し、その計画に基づいて燃料在庫量がタンク内に収まるよう燃料受払計画を策定しています。
- 年間の燃料受払計画策定後、月単位で計画の見直しを行っており（前々月下旬，前月中旬，当月上旬），在庫状況を見ながら都度配船調整しています。
- 燃料タンクの下限值は，物理的に利用できない限界値から，受入遅延などのリスク要因のバッファを見込んで運用下限を定めて運用しています。
- 調整電源の燃料受払計画は，契約している一般送配電事業者と共有しています。

<燃料払出計画の策定イメージ>



<燃料受払計画とタンク下限>



5. 今冬の燃料状況について

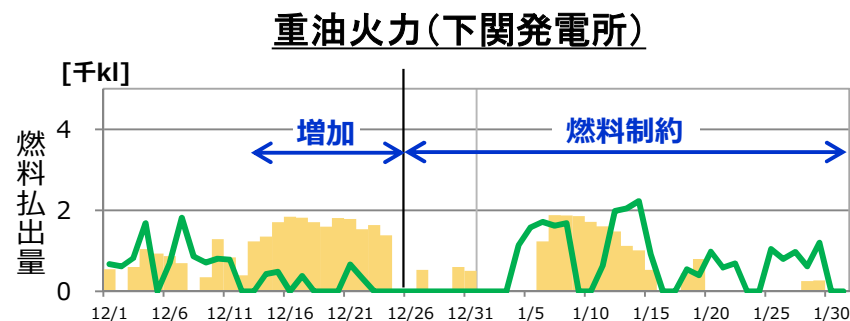
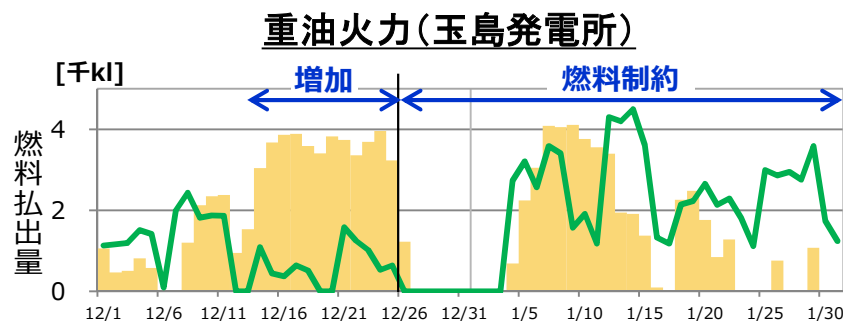
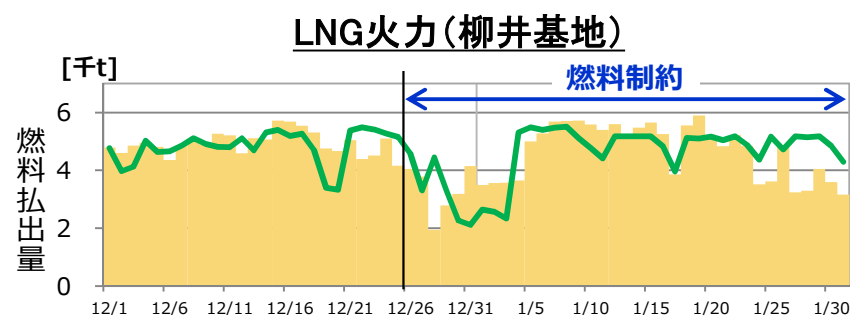
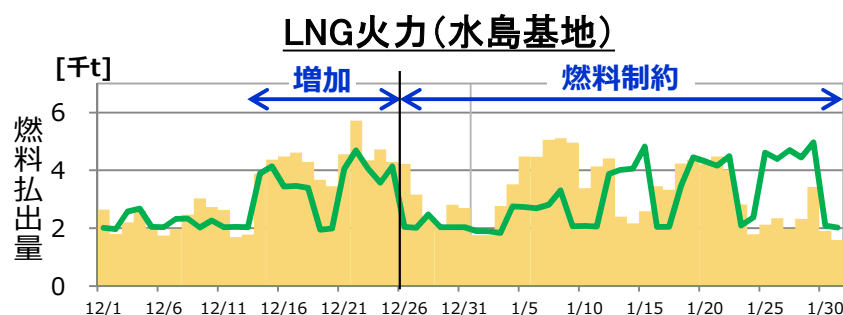
5-2. 今冬のLNG・重油火力の燃料払出量の計画・実績

- LNG・重油火力の日々の払出量の計画は、主として12月後半および1月の平日に需要が増加することを念頭に計画を策定しています。
- 今冬は12月中旬以降の需要増により、水島基地LNG火力※および重油火力の発電量が当初計画から増加し、1月以降に燃料在庫が払底する可能性を認識したことから、燃料消費を抑えるために年末から市場抛出に燃料制約の設定が必要と判断しました。
- 上記判断においては、1月のLNGスポットの調達が困難な状況であったことや、重油の追加調達可能な数量や内航船輸送余力に限りがあったことが背景にありました。

※ 水島1・3号, 玉島1号

<今冬のLNG・重油燃料払出量の計画・実績>

【凡例】 — :当初計画 ■ :実績



(注1) 燃料払出量の計画は、当該月の前月中旬に想定した計画値。

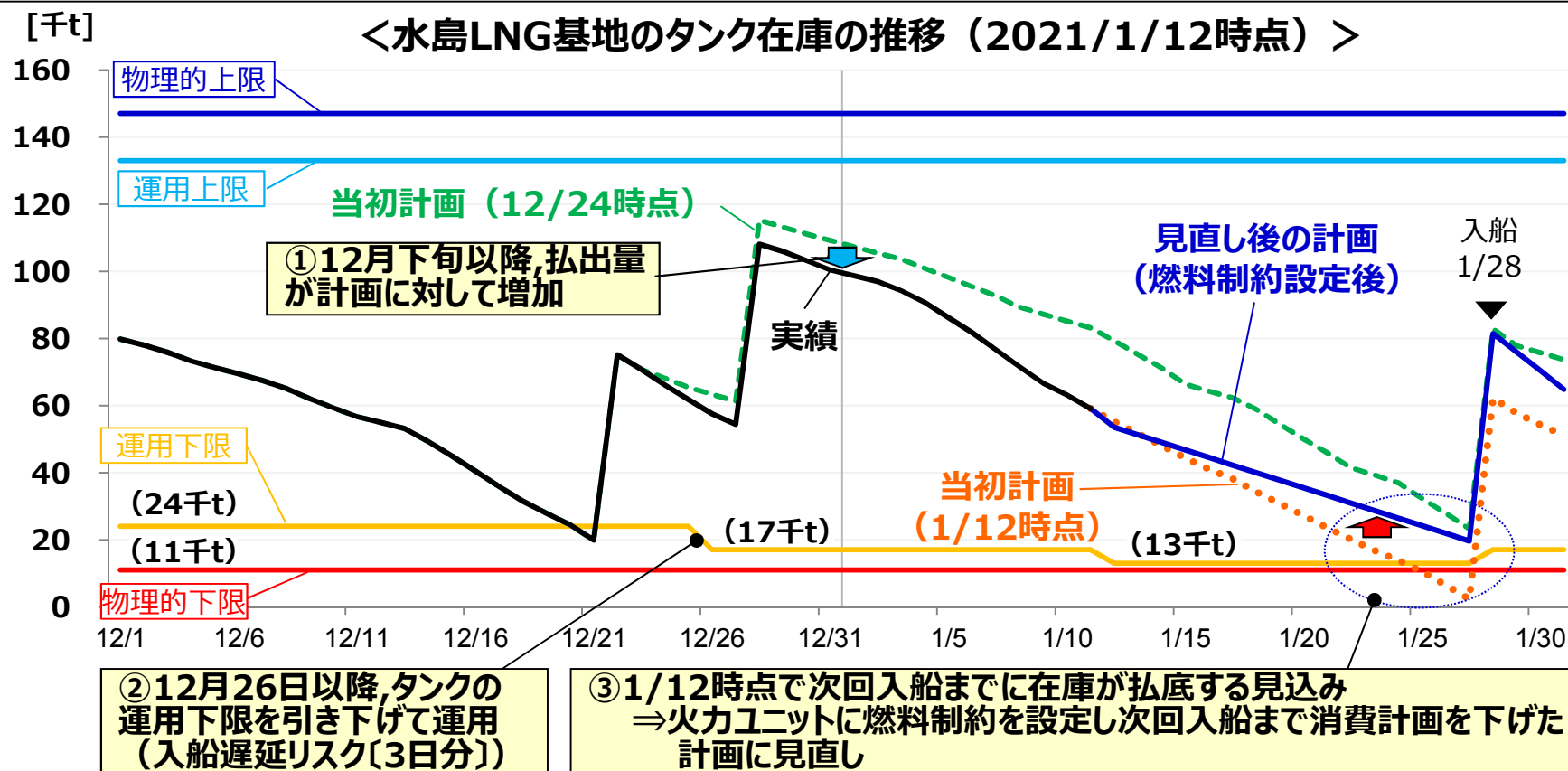
(注2) LNG燃料の払出量には「ガス供給分」および「共同基地利用者の使用分」が含まれています。

5. 今冬の燃料状況について

5-3. 今冬の水島基地LNG火力の燃料状況について

- 12月下旬以降，寒波による需要増等により水島LNG基地の払出量が計画より増加し，在庫払底の可能性を認識したため，市場への抛出に制約が必要となりました（①）
- 運用下限は，入船遅延リスク〔3日分〕を見込まないことで通常時から引き下げました（②）
- 1月12日時点で次回入船〔1/28〕までに在庫が払底する見込みとなったため，水島基地LNG火力※について，燃料消費を下げた計画（燃料制約）に見直しました（③）
- その後，1月配船の前倒しおよびスポット調達等の対策により水島基地の在庫状況が改善したため，1月下旬以降は燃料制約を段階的に緩和しました

※ 水島1・3号，玉島1号



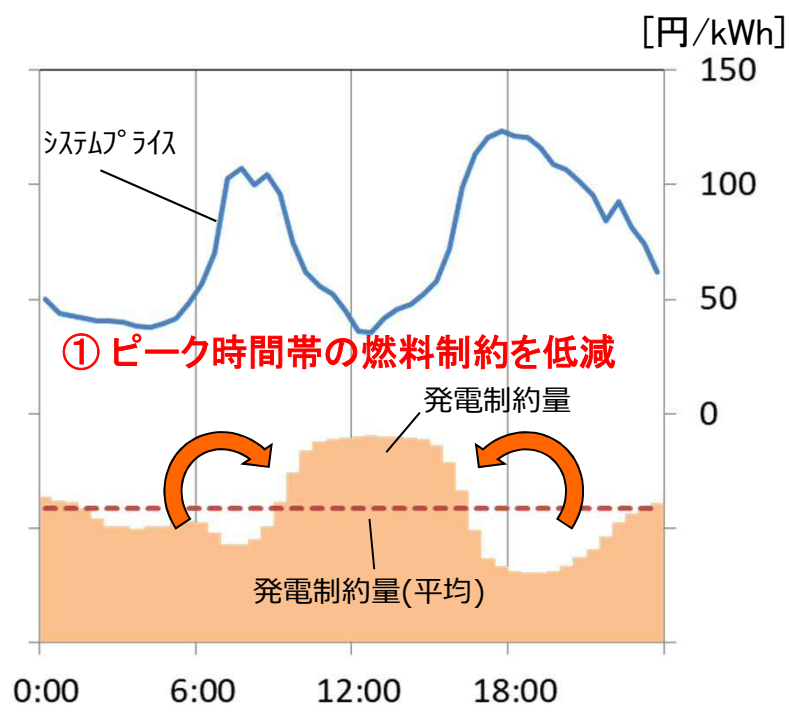
6. 市場価格への影響を考慮した運用について

14

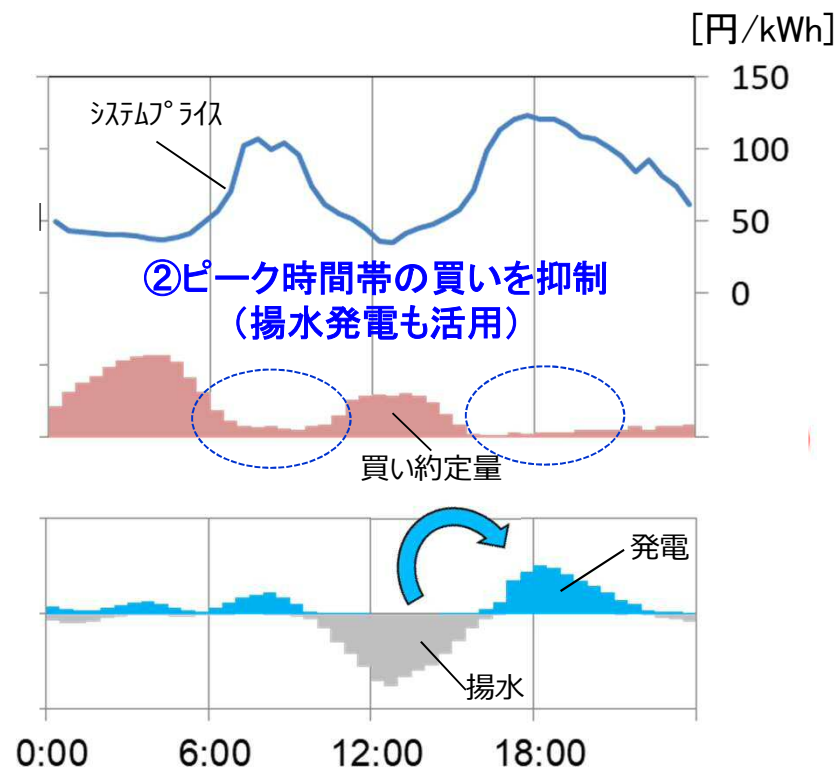
■市場価格への影響を考慮し、市場価格高騰時は下記の運用を行いました。

- 燃料制約量の設定にあたっては、市場への影響を考慮し、ピーク時間帯の燃料制約を緩和し、ピーク時間帯の供給力を捻出。
- 価格の比較的安いピーク以外の時間帯で市場調達を行い、また、揚水発電も活用することにより、ピーク時間帯の買いを抑制し、価格高騰に拍車がかからないよう運用。

＜市場影響を考慮した燃料制約量の設定＞



＜市場影響を考慮した買い入れ＞



※ 集計期間：2020/12/26-2021/1/22 （システムプライスが日平均30円/kWh以上の期間）

※ 買い約定量：間接オークション、B L・先渡し分は控除、売り買い約定量相殺後の値

7. グロスビディングについて

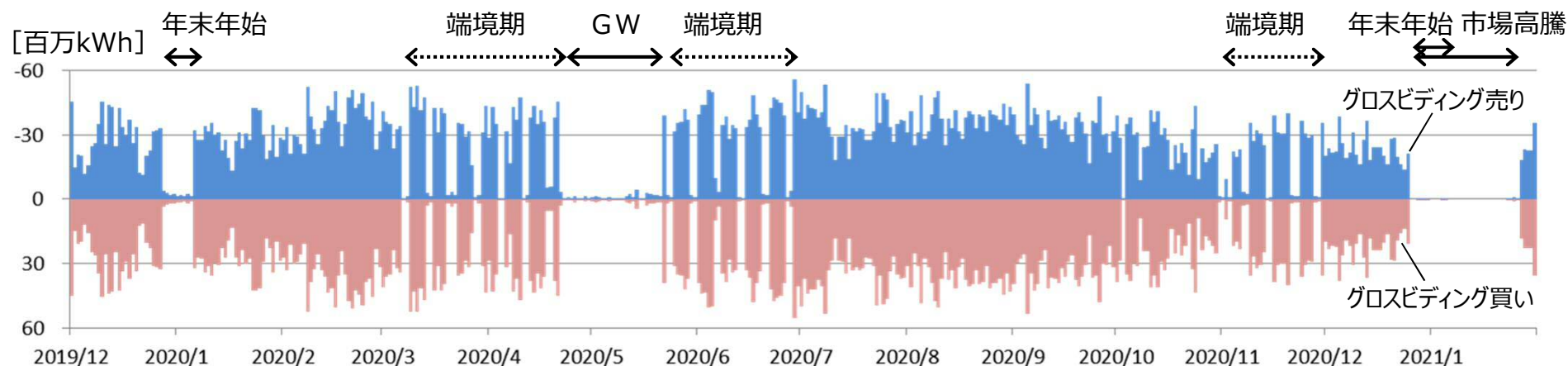
7-1. グロスビディングについて

15

- 当社が使用する予定の供給力の一部を売り入札し、それが約定した場合に不足する供給力を別の供給力で補った需給計画で買い入札を行っています。
- 市場価格が極端な高値または安値になると想定される日にグロスビディングの入札量を増やすと、以下の問題があるため、高値買いまたは安値売りを伴うグロスビディングを中止しています。
 - 市場価格が暴落する虞がある日（特に、端境期の休祝日やGW、年末年始の特殊期間）は、買いのみの約定により供給力余剰が発生する虞があるため。
 - 市場価格が高騰（全国的に需給がひっ迫）することが予想される日は、グロスビディング売りに伴う供給力不足量を買戻せない虞があるため。
- なお、安値売りや高値買いを伴うグロスビディングを中止する場合は、グロスビディングの売り入札量と買い入札量を同量減らしています。

今冬は12/26～安値売りや高値買いを伴うグロスビディングを中止。1/27～市場価格の極端な高値が解消されたと判断し再開

＜至近1年間のグロスビディング実施状況＞



7. グロスビディングについて

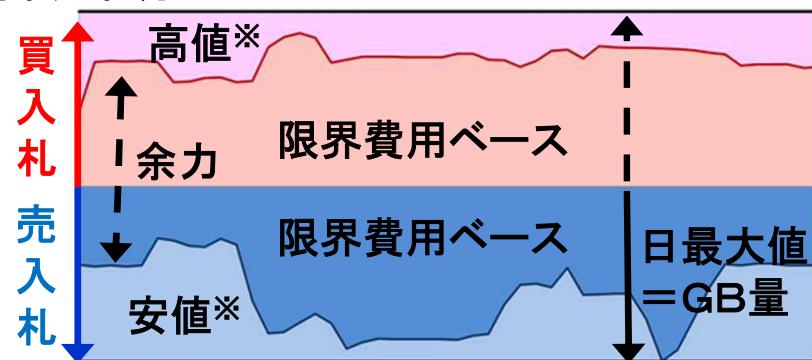
16

7-2. グロスビディングの実施方法について

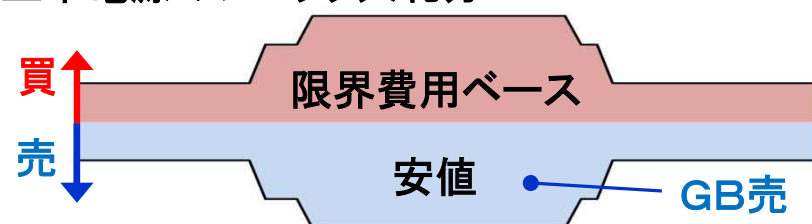
- 当社のグロスビディングは、運転中余力を対象とした通常入札分と停止中電源から買入札するブロック入札分から構成されています。
- 通常入札分は、上げまたは下げ調整力の各コマの最大値をその日のグロスビディングの量として決定しています（ネットビディングの売買入札は発生しない）。各コマの上げまたは下げ調整力の範囲内の入札価格は限界費用、それを超える部分は、高値買いまたは安値売りとなります。
- ブロック入札は、停止中電源をネットビディングで売った場合の入札量と同量を運転中の電源から安値で売り入札し、停止中電源の限界費用で買入札を行っています。（実質の買ブロックは全てネットビディング）

<グロスビディング>

通常入札分

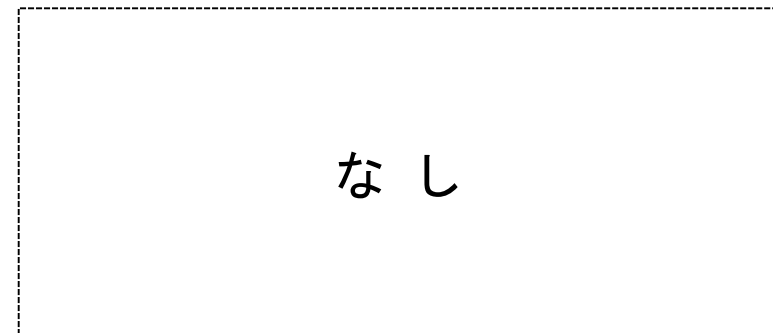


停止中電源のブロック入札分



<ネットビディング>

通常入札分



買いブロック入札分



※市場価格が極端な高値・安値になると想定される日は、余力の範囲内(限界費用ベースの範囲内)でグロスビディングを実施

参 考

【参考】中国電力のLNG・重油火力発電所の設備概要

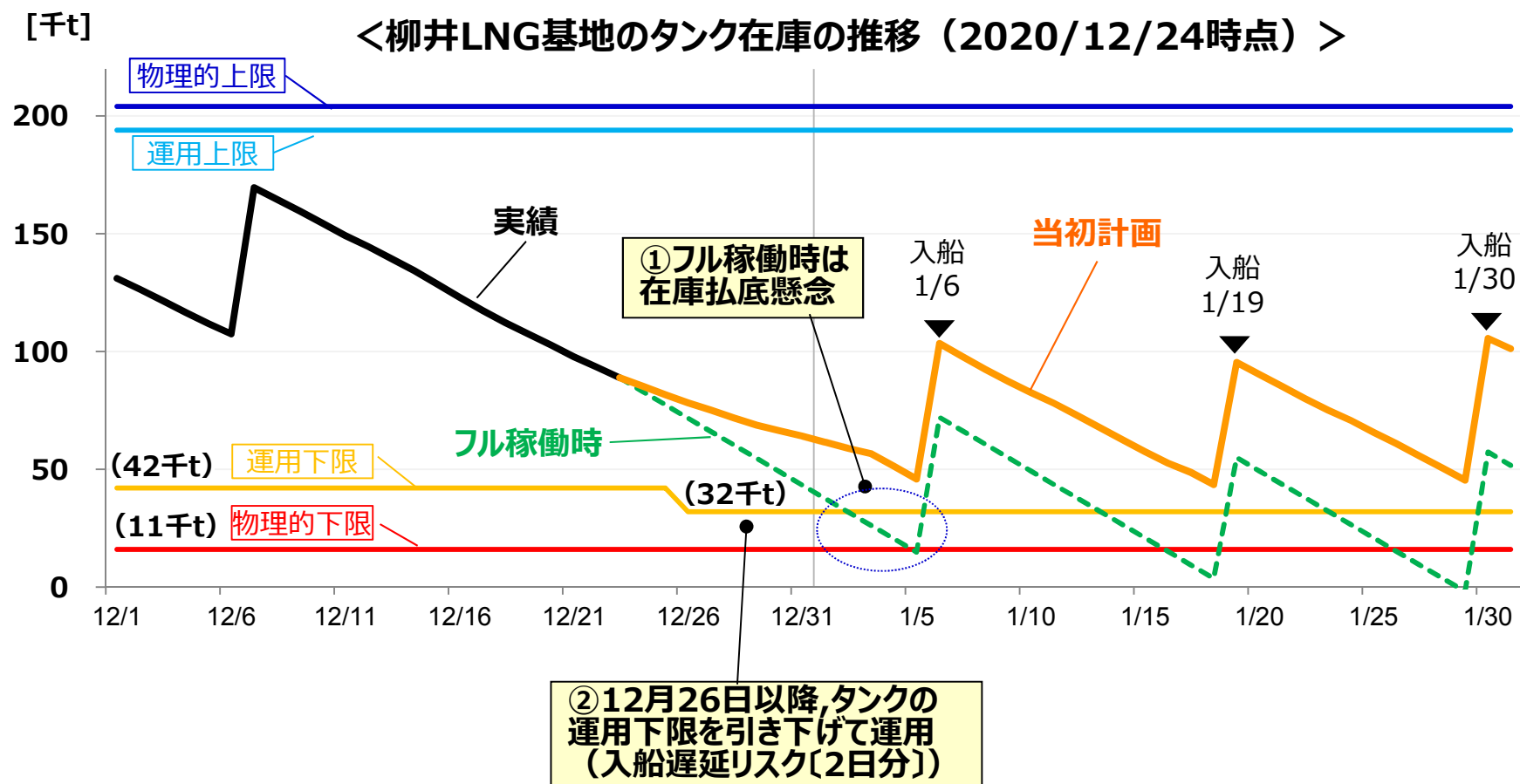
18

- 当社のLNG・重油火力の発電設備の概要は以下のとおり。
- 柳井1系・2系および水島1号以外は，旧型のコンベンショナル型の発電方式。

		発電設備概要		
		ユニット名	発電方式	定格出力 (万kW)
LNG 火力	水島基地	水島1号	G T C C	28.5
		水島3号	コンベンショナル	34.0
		玉島1号	//	35.0
	柳井基地	柳井1系（6軸）	G T C C	140.0
		柳井2系（4軸）	//	
重油 火力	玉島発電所	玉島2号	コンベンショナル	35.0
		玉島3号	//	50.0
	下関発電所	下関2号	//	40.0

【参考】今冬の柳井基地LNG火力の燃料状況について

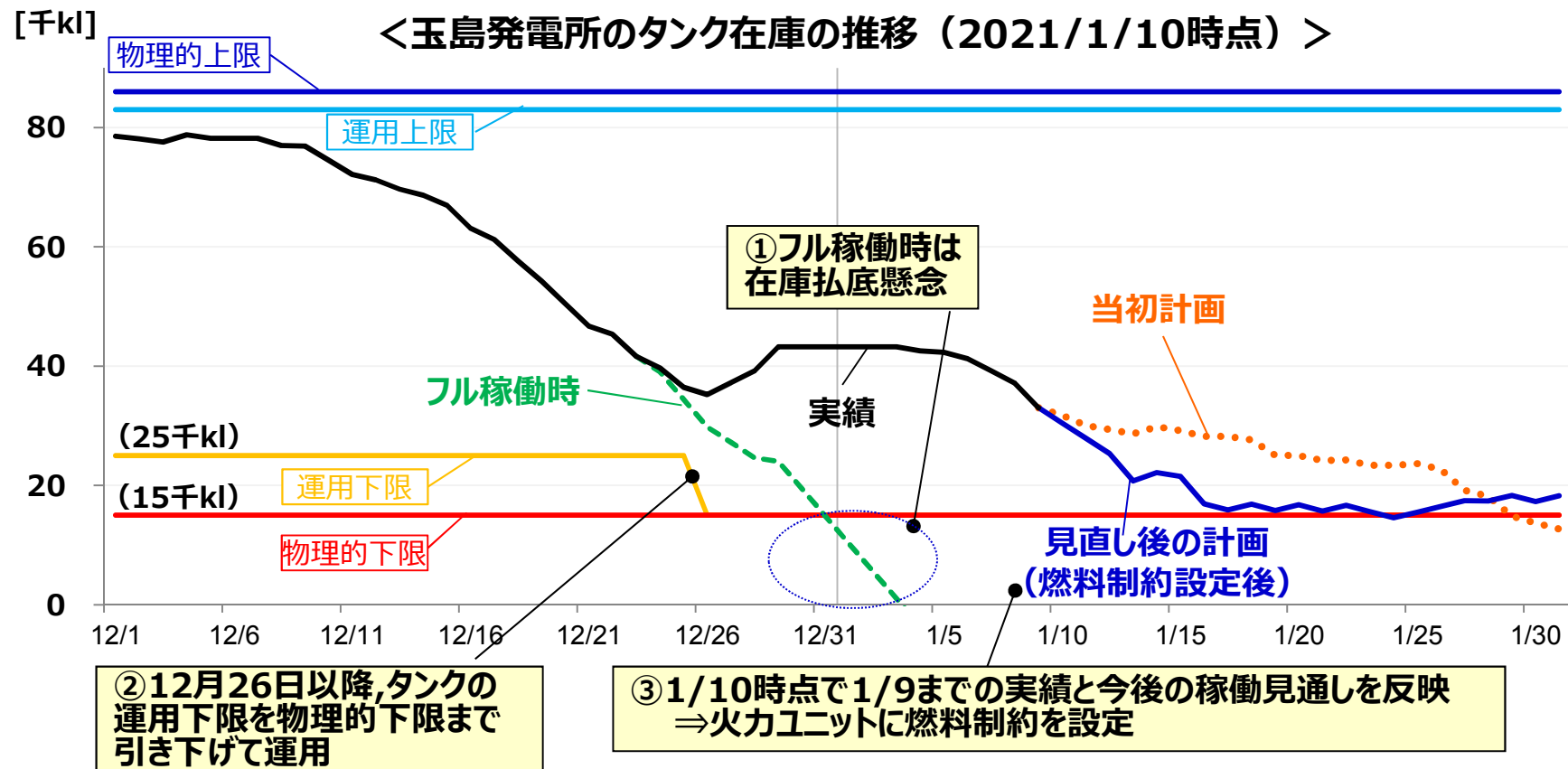
- 年末以降の払出し量が増加すると1月以降に在庫が払底する可能性を認識したため、柳井発電所について市場への抛出に制約が必要となりました（①）
- 運用下限は、入船遅延リスク〔2日分〕を見込まないことで通常時から引き下げました（②）



【参考】今冬の重油火力の燃料状況について（玉島発電所）

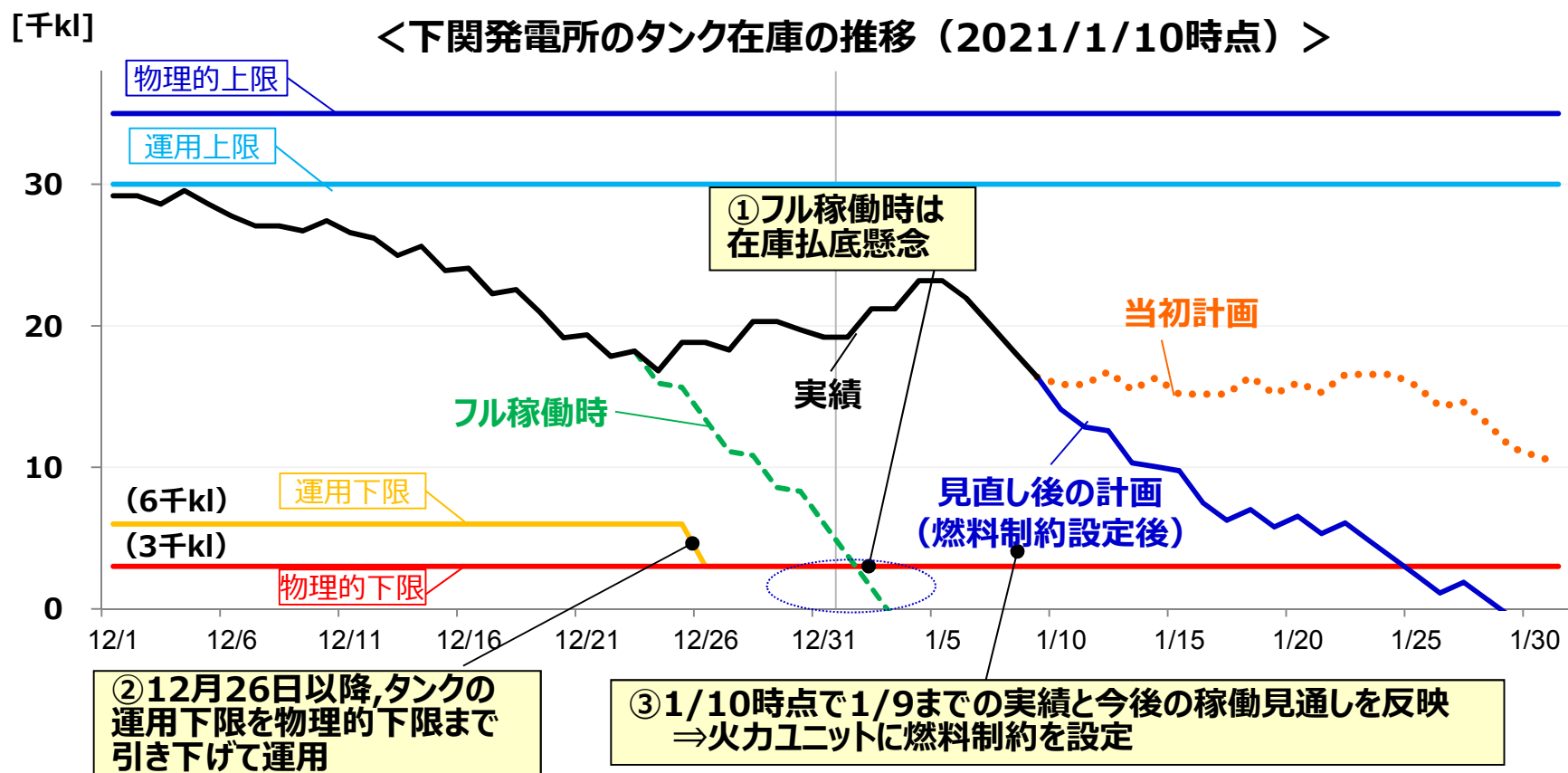
20

- 年末以降の払出し量が増加すると12月中に在庫が払底する可能性を認識したため、玉島2・3号機について市場への抛出に制約が必要となりました（①）
- 運用下限は、物理的下限まで引き下げました（②）
- 1月10日時点で、1月9日までの燃料消費実績と今後の稼働見通しを反映したうえで、日毎の制約量を設ける燃料制約を開始しました（③）



【参考】今冬の重油火力の燃料状況について（下関発電所）

- 年末以降の払出し量が増加すると12月中に在庫が払底する可能性を認識したため、下関2号機について市場への抛出に制約が必要となりました（①）
- 運用下限は、物理的下限まで引き下げました（②）
- 1月10日時点で、1月9日までの燃料消費実績と今後の稼働見通しを反映したうえで、日毎の制約量を設ける燃料制約を開始しました（③）



【参考】LNG燃料タンク下限値とその算定根拠(通常時)

22

【単位】千t

燃種	ユニット名	タンク名	物理的下限 ※	値の根拠	運用下限 ※	設定の根拠
LNG	水島1号 水島3号 玉島1号	1号タンク	11	ポンプ起動限界 から算定	24	基地の共同運用先との協議により、物理的下限に以下のリスク要因を加算して算定 ①地元ガス会社（特に民生用）への供給途絶を回避するための確保量として6千t（産業用4日分，民生用10日分）を考慮 ②悪天候や原油船入港との重複等によるLNG船受入遅延リスク（3日分）として約7千t（※1）を考慮 ※1 1日あたり平均消費量2,350t×3日分
		2号タンク				
	柳井1系 柳井2系	1号タンク	16	ポンプ起動限界 から算定	42	物理的下限に以下のリスク要因を加算して算定 ①受入・輸入通関手続き（含，悪天候に伴う遅延）に要する日数（3日分）として約16千t（※2）を考慮 ※2 1日あたり平均消費量5,200t程度×3日分 ②計画策定時点から配船遅延リスク（2日分）として約10千t（※3）を考慮 ※3 1日あたり平均消費量5,200t程度×2日分
		2号タンク				
		3号タンク				
		4号タンク				
		5号タンク				
		6号タンク				

※水島基地2タンク・柳井基地6タンクいずれも全タンク一体運用のため、物理的下限および運用下限は全タンクの合計値で記載。

【参考】LNG燃料タンク下限値とその算定根拠 (今冬において、通常の運用下限を下回った場合)

【単位】千t

燃 種	ユニット名	タンク名	運用下限 今冬値 (通常値)※	今冬におい て最も低い 液位	下回った・下限を引 き下げた期間	下回った・下限を引き下げ た理由	算定根拠	意思決定方法
L N G	水島1号 水島3号 玉島1号	1号タンク	17 (24)	27.9	【下限を引き下げ た期間】 2020/12/26～ 2021/1/11, 2021/1/20～ 2021/1/31	燃料在庫が払底する 可能性を認識したため	悪天候等によるLNG 船受入遅延リスク分 (約3日分)の活用	需給・トレーディング 部門と電源事業本 部間の協議により決 定
		2号タンク						
		1号タンク	13 (24)		【下限を引き下げ た期間】 2021/1/12～ 2021/1/20	発電支障をきたす可 能性が高まったため、 緊急避難的に設定	上記地元ガス会社向 け供給用としての余力 分在庫4千tの追加活 用（緊急避難的に設 定）	当社と共同運用先 との協議により決定
					2号タンク			
	柳井1系 柳井2系	1号タンク	32 (42)	33.4	【下限を引き下げ た期間】 2020/12/26～ 2021/1/31	燃料在庫が払底する 可能性を認識したため	配船遅延リスク分（2 日分）の活用	需給・トレーディング 部門と電源事業本 部間の協議により決 定
		2号タンク						
		3号タンク						
		4号タンク						
		5号タンク						
		6号タンク						

※水島基地2タンク・柳井基地6タンクいずれも全タンク一体運用のため、運用下限は全タンクの合計値で記載。

【参考】重油燃料タンク下限値とその算定根拠(通常時)

24

単位：[千kℓ]

燃種	ユニット名	タンク名	物理的下限	値の根拠	運用下限	設定の根拠
重油	玉島2号 玉島3号	1号 タンク	5.1	払出ポンプの運転限界 から算定	8.5	物理的下限に以下のリスク要因を 加算して算定 ①重油の払出品位が均一となる よう、攪拌用ミキサーが使用 できる水準を考慮 ②上記①の上部に設置する警報 センサー取付位置を考慮
		2号 タンク	5.1		8.5	
		6号 タンク	4.5		7.5	
	下関2号	2号 タンク	1.1	払出ポンプの運転限界 から算定	1.8	物理的下限に以下のリスク要因を 加算して算定 ①重油の払出品位が均一となる よう、攪拌用ミキサーが使用 できる水準を考慮 ②上記①の上部に設置する警報 センサー取付位置を考慮
		6号 タンク	2.2		4.5	

【参考】重油燃料タンク下限値とその算定根拠 (今冬において、通常の運用下限を下回った場合)

25

単位：[千ℓ]

燃 種	ユニット名	タンク名	運用下限 今冬値 (通常値)	今冬にお いて最も 低い液位	下回った・下限を 引き下げた期間	下回った・下限を 引き下げた理由	算定根拠	意思決定方法
重 油	玉島2号 玉島3号	1号 タンク	5.1 (8.5)	10.7	【下限を引き下げた 期間】 2020/12/26～ 2021/1/31	燃料在庫が払底する 可能性を認識したため	物理的下限を 採用	需給・トレーディ ング部門と電源事 業本部間の協議 により決定
		2号 タンク	5.1 (8.5)	8.3	【運用下限(通常時) を下回った期間】 (2号タンク) 2021/1/10～26			
		6号 タンク	4.5 (7.5)	7.4	※今回の需給ひっ迫に伴う液位の低下で はなく、タンク開放点検に向けて 液位を 下げていたもの。			
	下関2号	2号 タンク	1.1 (1.8)	5.8	【下限を引き下げた 期間】 2020/12/26～ 2021/1/31	燃料在庫が払底する 可能性を認識したため	物理的下限を 採用	需給・トレーディ ング部門と電源事 業本部間の協議 により決定
		6号 タンク	2.2 (4.5)	4.6				

燃料制約の設定日、見直しのタイミングの諸元

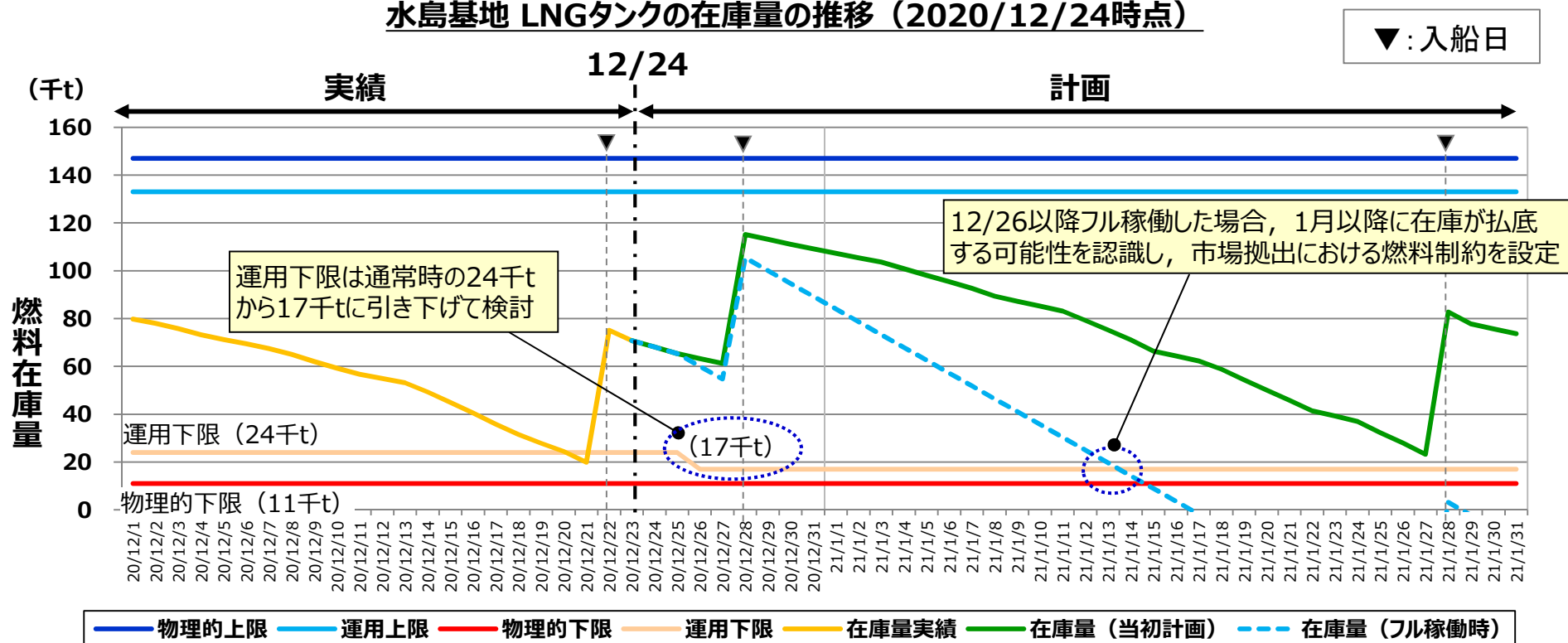
LNG火力 (水島基地)

水島基地 燃料受払計画(2020/12/24時点)

28

- 12月中旬以降、寒波による需要増等により燃料在庫が急減し、年末以降の払出し量が増加すると1月以降に在庫が払底する可能性を認識したため、12月26日から水島LNG基地から燃料を供給する火力ユニット(水島1・3号, 玉島1号)の市場拠出における燃料制約を設定しました。
- 運用下限は、燃料在庫が払底する可能性を認識したため、通常時の24千tから17千tに引き下げて検討していました。また、在庫推移は共同運用先のLNG船受入予定や払出予定量を含む在庫量で管理しており、1月において共同運用先から21千tの在庫融通を受ける協議を進めていました。

水島基地 LNGタンクの在庫量の推移 (2020/12/24時点)

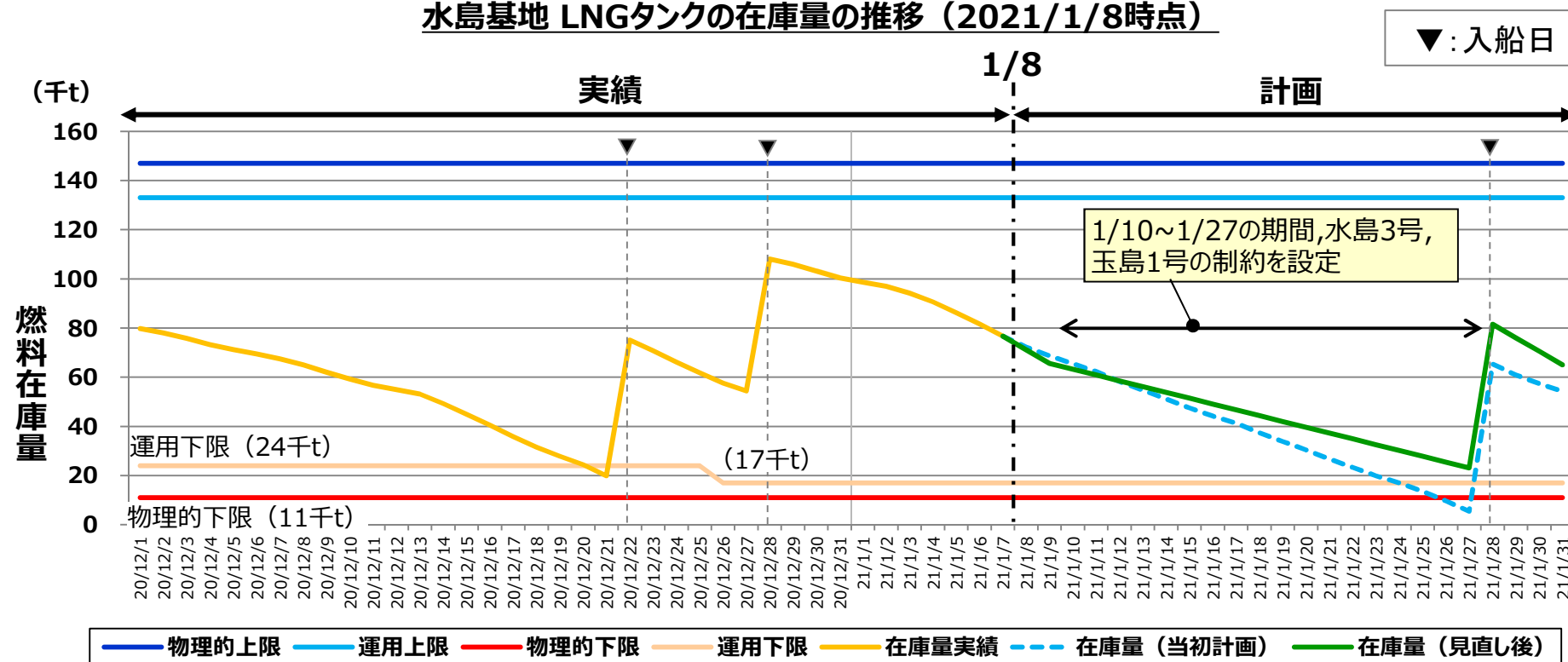


水島基地 燃料受払計画(2021/1/8時点)

29

■ 1月7日から寒波に伴う需要増に伴い燃料消費が進み、1月10日以降の払出計画では運用下限を下回る見通しとなったため、次回配船日(1月27日)まで水島LNG基地から供給する火力ユニットのうち、水島3号、玉島1号を計画停止とする燃料制約を設定しました。

水島基地 LNGタンクの在庫量の推移 (2021/1/8時点)



<設定した燃料制約>

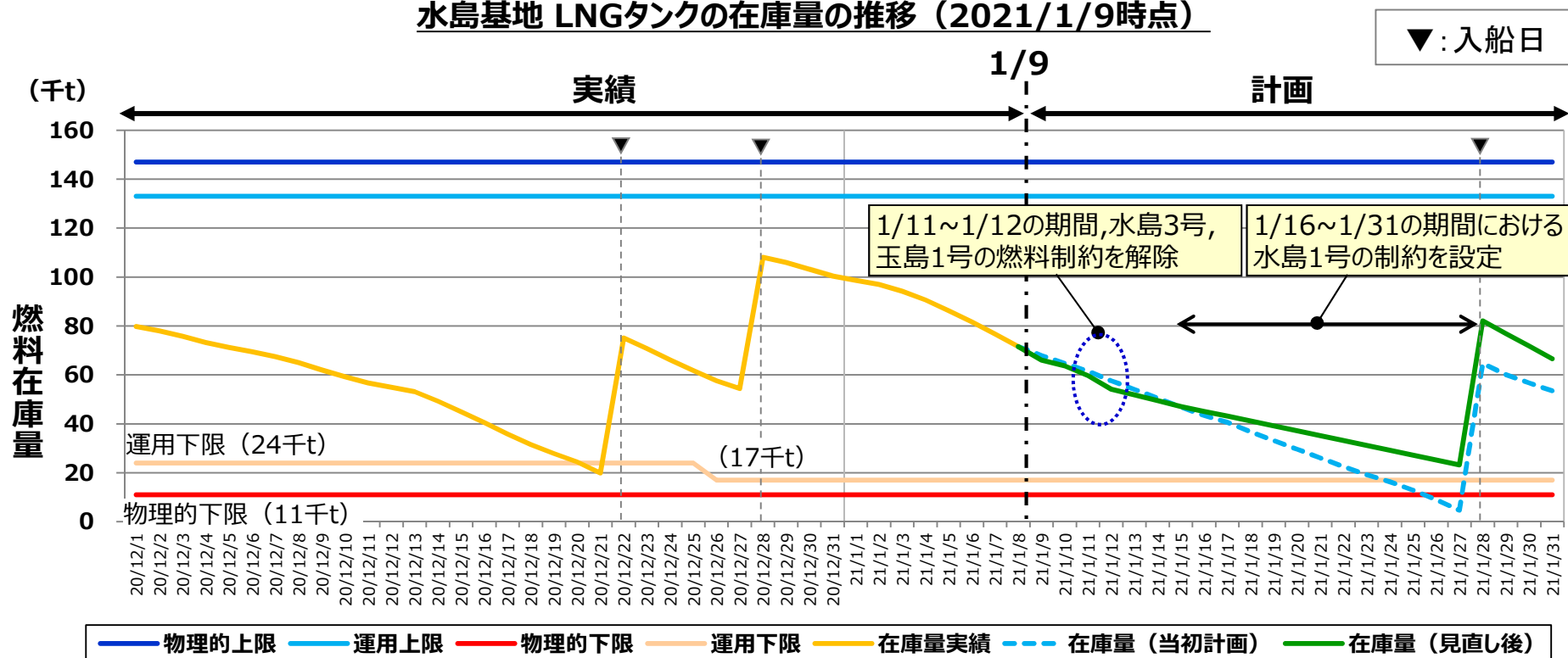
水島3号・玉島1号 … 1/10~1/27 (計画停止)

水島基地 燃料受払計画(2021/1/9時点)

30

- 全国的に需給状況が厳しい見通しであることを踏まえ、1月11日から1月12日の期間は水島3号と玉島1号の燃料制約を解除しました。
- 上記に伴い燃料を先使いすることになったため、1月16日から1月31日の期間の水島1号の燃料制約を設定しました。

水島基地 LNGタンクの在庫量の推移 (2021/1/9時点)



<設定した燃料制約>

水島1号・・・1/16～1/31 (利用率60%)

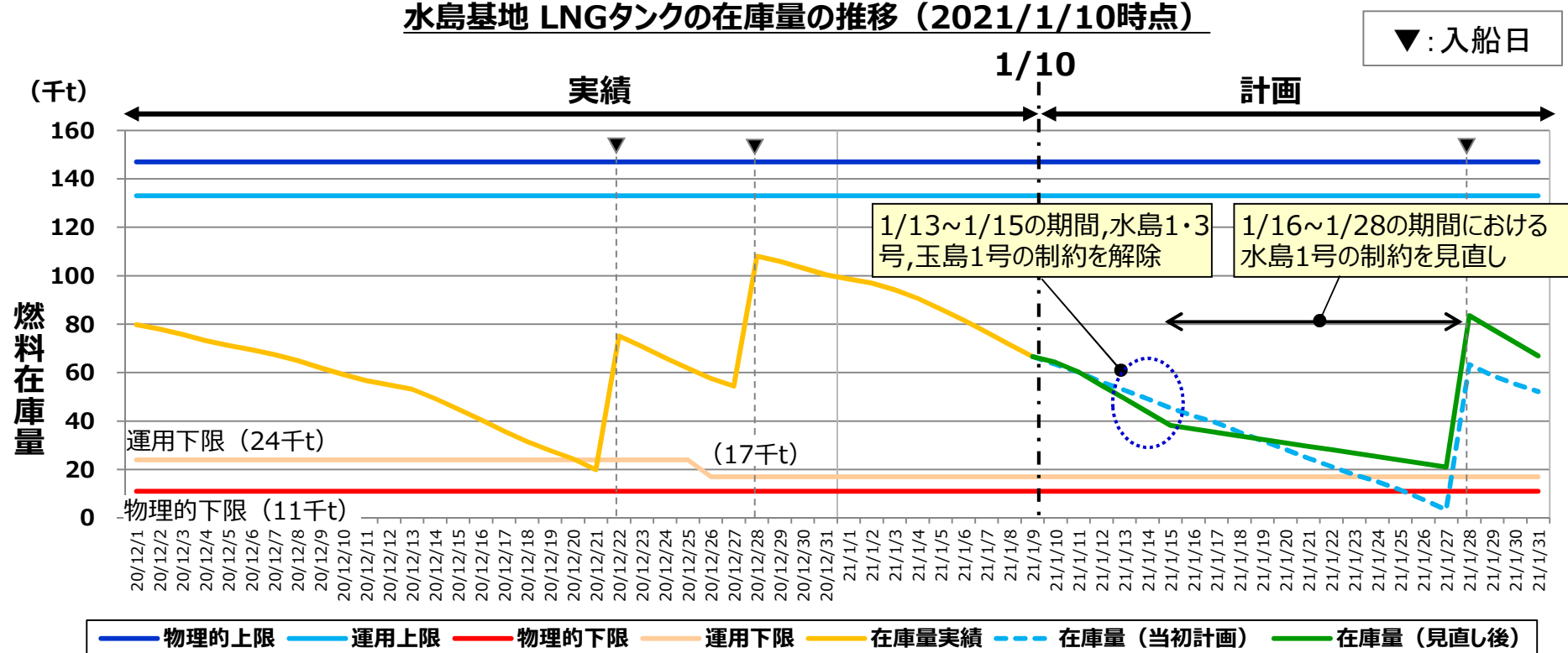
水島3号・玉島1号 …… 1/10, 1/13～1/27 (計画停止) , 1/11 (利用率50%)

水島基地 燃料受払計画(2021/1/10時点)

31

- 全国的に需給状況が厳しい見通しであることを踏まえ、1月13日から1月15日の期間の水島1・3号および玉島1号の燃料制約を解除しました。
- 上記に伴い燃料消費が更に進んだ場合の見通しを踏まえ、1月16日から1月28日の期間の水島1号の燃料制約を見直しました。

水島基地 LNGタンクの在庫量の推移 (2021/1/10時点)



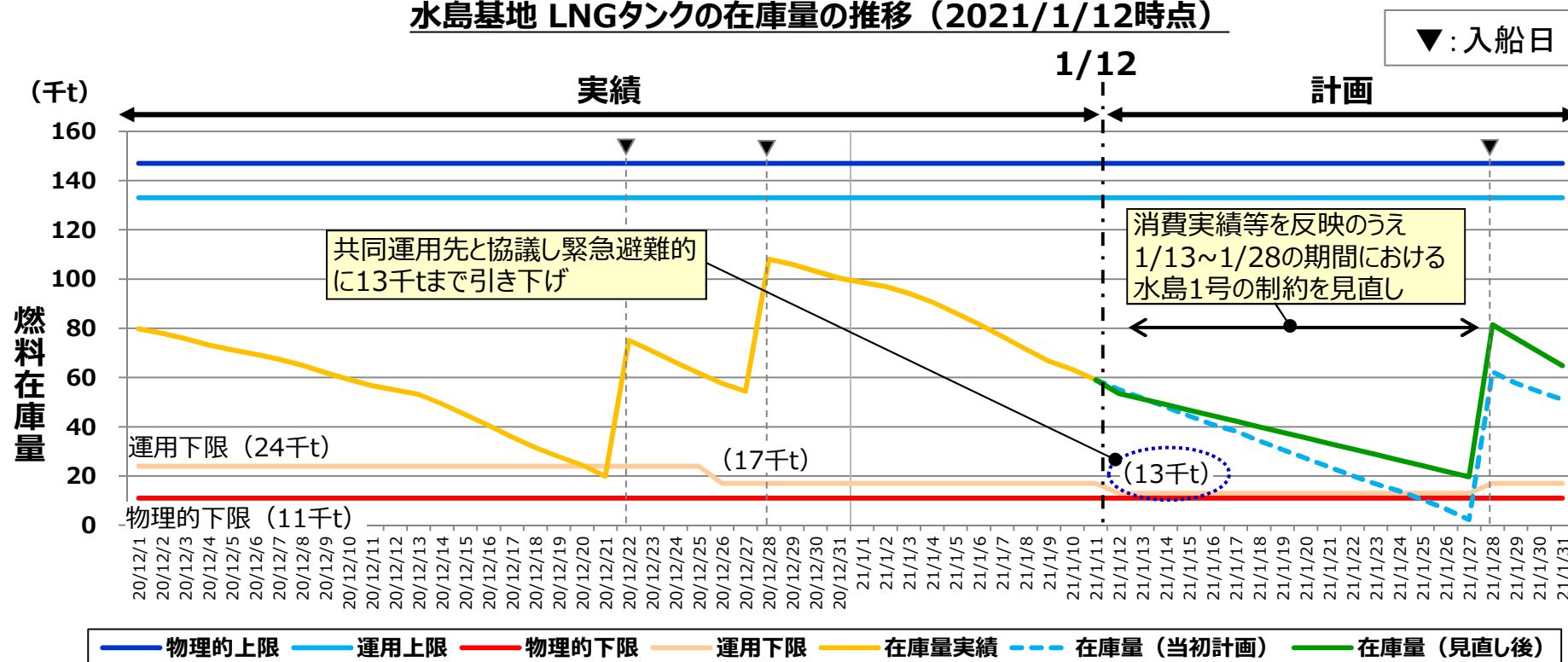
<設定した燃料制約>
水島1号, 水島3号, 玉島1号 ... 1/16~1/28 (計画停止)

水島基地 燃料受払計画(2021/1/12時点)

32

- 1月11日までの消費実績および1月12日の稼働見通しを反映のうえ、1月13日から1月28日の期間における水島1号の燃料制約を見直しました。
- 発電支障をきたす可能性が高まったため、LNG基地の共同運用先と協議し緊急避難的に運用下限を13千tまで引き下げました(次回入船まで)。

水島基地 LNGタンクの在庫量の推移 (2021/1/12時点)



<設定した燃料制約>

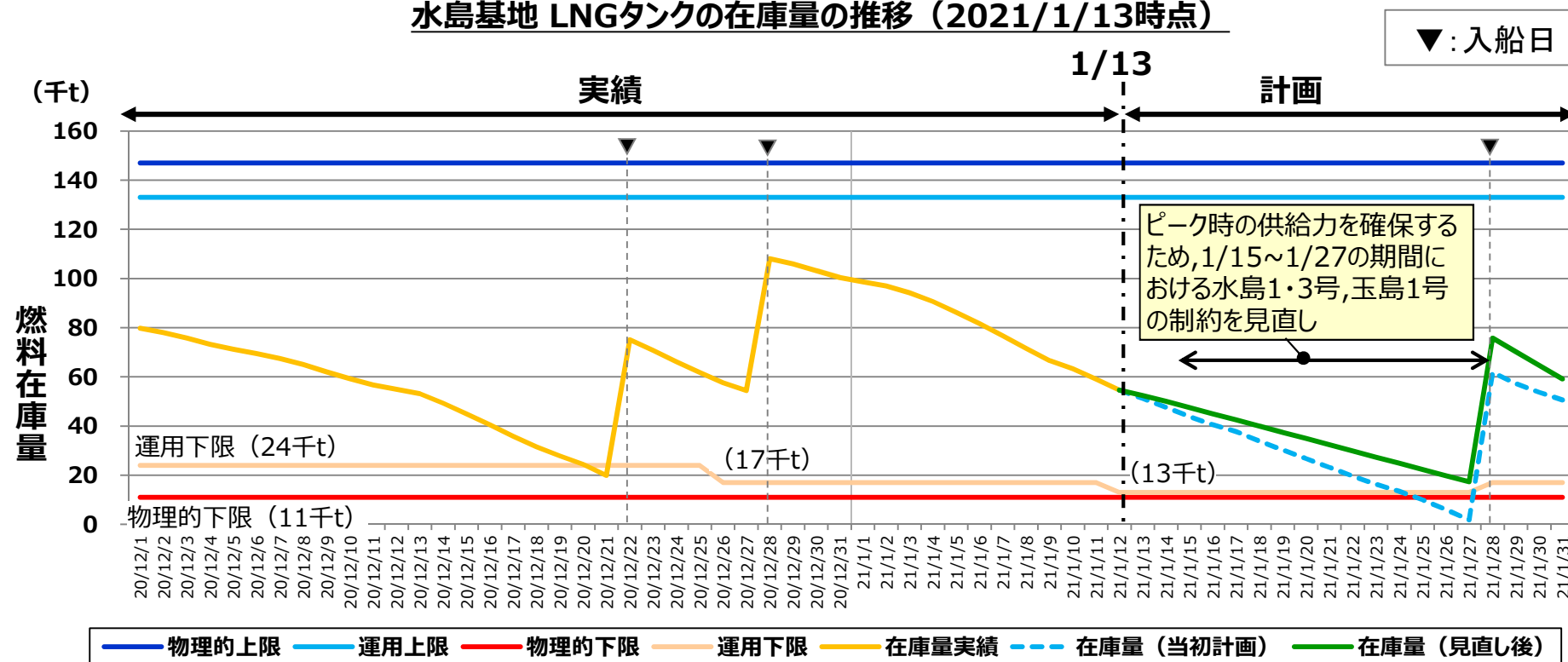
水島1号 … 1/13~1/28 (利用率89%)
 水島3号・玉島1号 … 1/13~1/28 (計画停止)

水島基地 燃料受払計画(2021/1/13時点)

33

- ピーク時の供給力を確保するため、1月15日から1月27日の期間、水島3号および玉島1号の制約内容を「計画停止」から「ピーク時のみ運転」に見直しました。
- このため、当該期間における水島1号の日毎の制約量を見直しました。

水島基地 LNGタンクの在庫量の推移 (2021/1/13時点)



<設定した燃料制約>

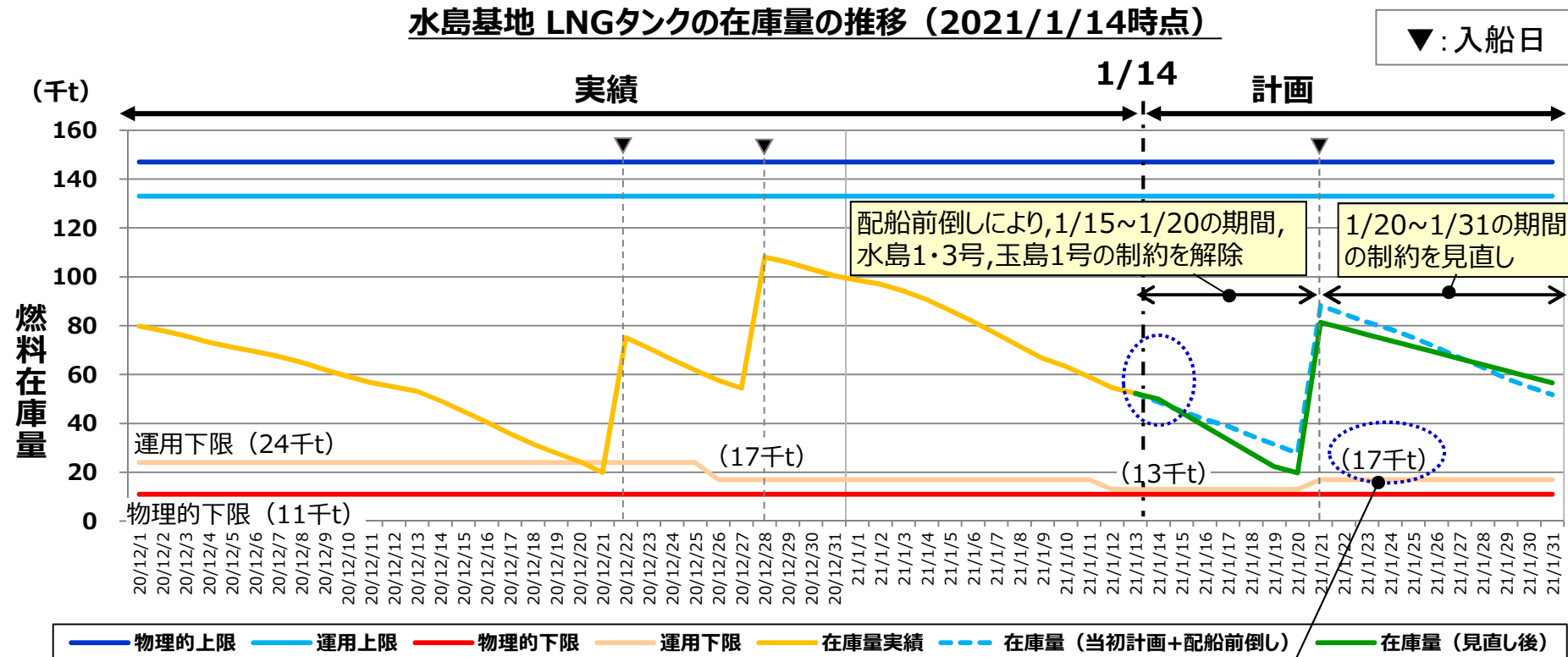
- 水島1号 ... 1/15~1/27 (利用率57%)
- 水島3号 ... 1/14 (計画停止), 1/15~1/27 (利用率18%)
- 玉島1号 ... 1/14 (計画停止), 1/15~1/27 (利用率17%)

水島基地 燃料受払計画(2021/1/14時点)

34

- 国内外の事業者との配船交換により、水島基地への入船日前倒しが決定したため、1月20日までは燃料制約を解除しフル出力で運転できるようにしました。1月20日以降は、次回入船日の2月19日までに在庫が払底しないよう日毎の制約量を設定しました。
- 運用下限は、緊急避難的に引き下げていた13千tから、LNG船が入港する21日以降、17千tに戻すこととしました。

水島基地 LNGタンクの在庫量の推移 (2021/1/14時点)



<設定した燃料制約>

水島1号 … 1/20~1/31 (利用率68%)
 水島3号 … 1/20~1/31 (利用率12%)
 玉島1号 … 1/20~1/31 (利用率13%)

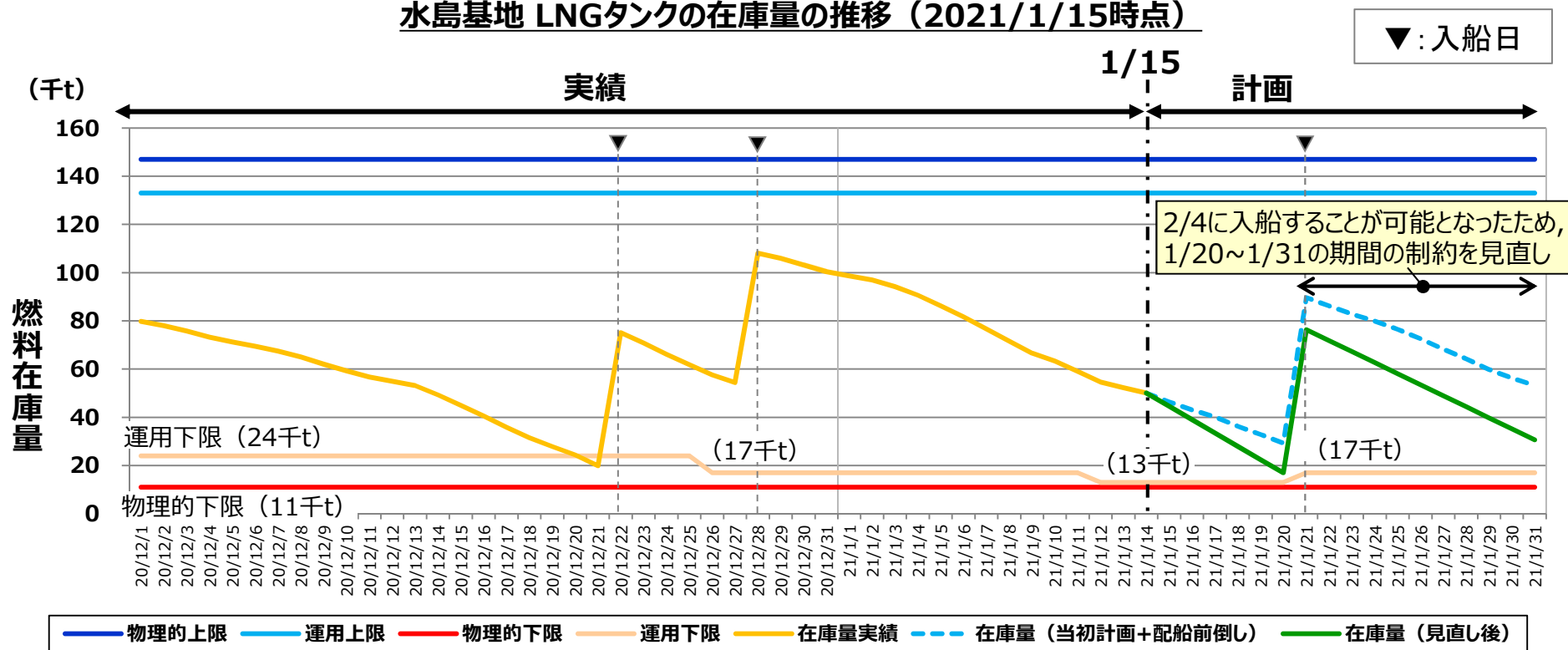
LNG船が入港する21日以降、
運用下限を17千tに引き上げ

水島基地 燃料受払計画(2021/1/15時点)

35

■LNGスポットの緊急調達が決定し、2月4日の柳井基地向けLNG船を水島基地へ振り向けることが可能となったため、1月20日以降の日毎の制約量を見直しました。

水島基地 LNGタンクの在庫量の推移 (2021/1/15時点)



<設定した燃料制約>

水島1号 … 1/20~1/31 (制約解除)

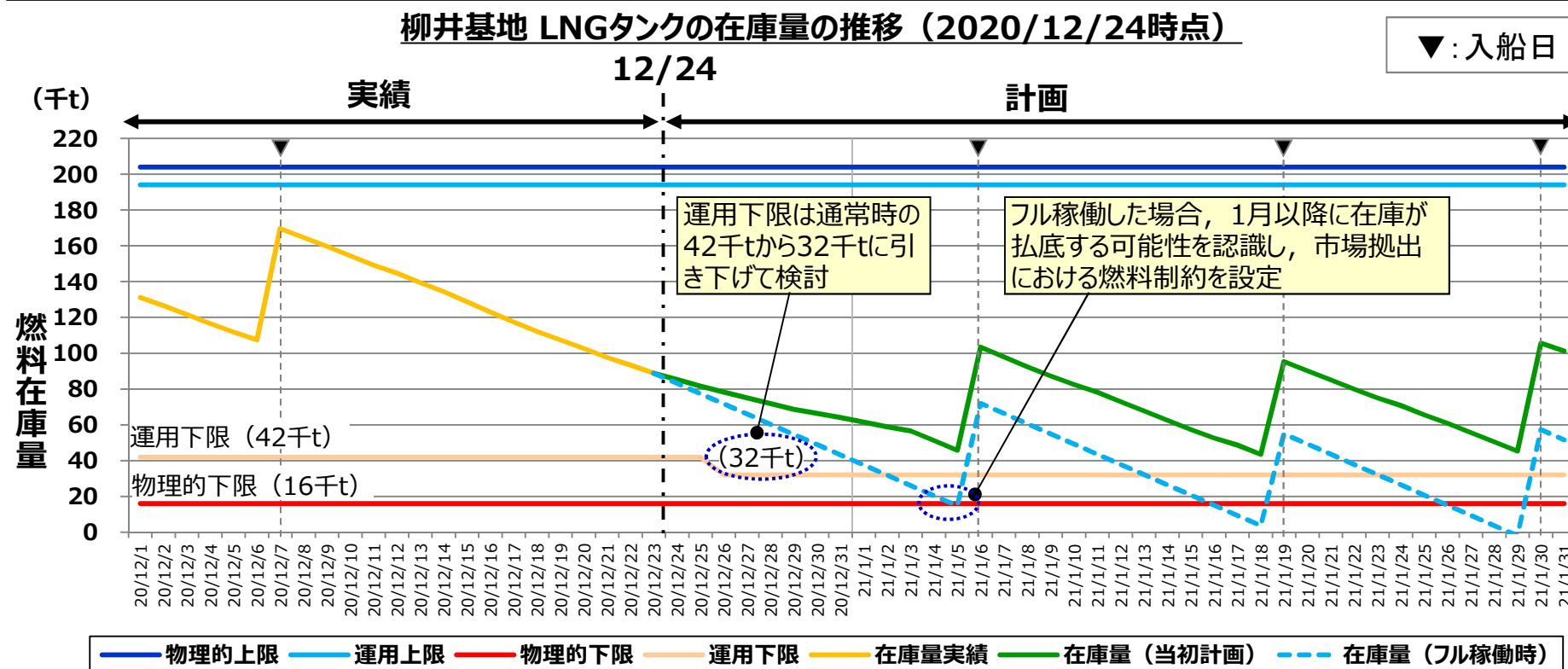
水島3号, 玉島1号 … 1/21~1/31 (利用率70%)

LNG火力 (柳井基地)

柳井基地 燃料受払計画(2020/12/24時点)

37

- 12月中旬以降、寒波による需要増等により燃料在庫が急減し、年末以降の払出し量が増加すると1月以降に在庫が払底する可能性を認識したため、12月26日から柳井LNG基地から供給する火力ユニット(柳井1号系列・2号系列)の市場抛出における燃料制約を設定しました。
- 運用下限は、燃料在庫が払底する可能性を認識したため、通常時の42千tから32千tに引き下げて検討しました。



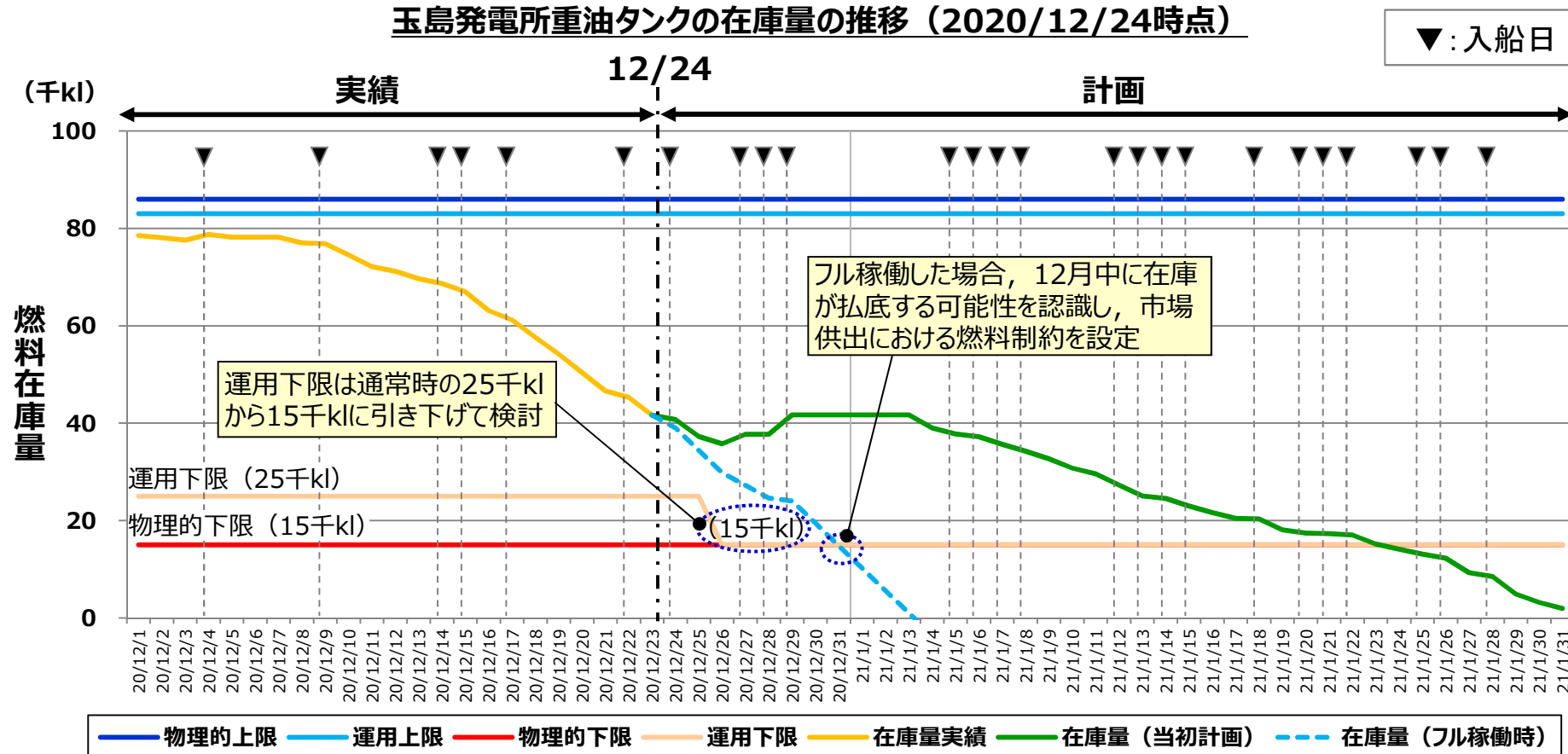
重油火力 (玉島発電所)

玉島発電所 燃料受払計画(2020/12/24時点)

39

- 12月中旬以降、寒波による需要増等により燃料在庫が急減し、年末以降の払出し量が増加すると12月中に在庫が払底する可能性を認識したため、12月26日から玉島発電所の火力ユニット(玉島2・3号)の市場拠出における燃料制約を設定しました。
- タンク運用下限は、燃料在庫が払底する可能性を認識したため、通常時の25千klから15千klに引き下げて検討していました。

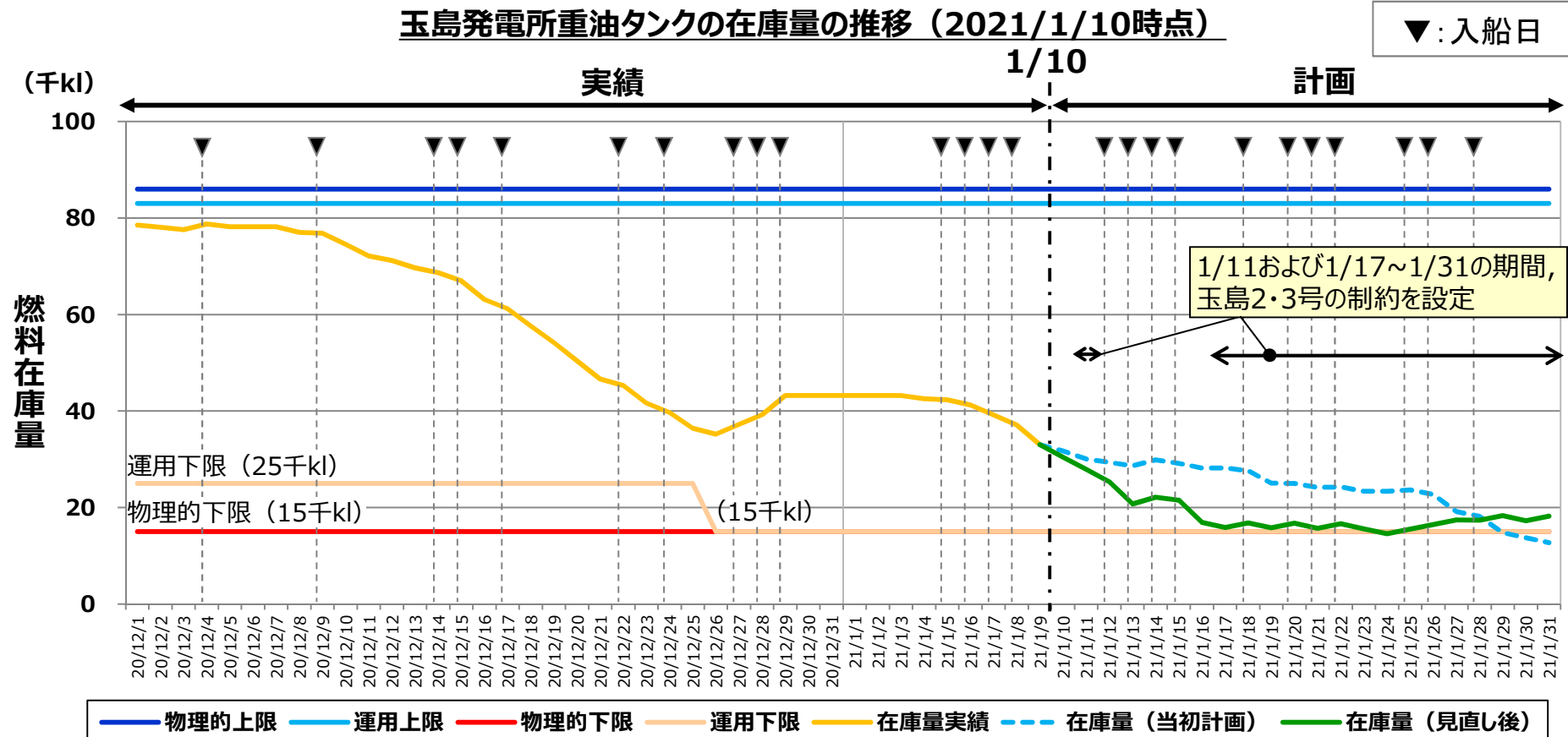
玉島発電所重油タンクの在庫量の推移 (2020/12/24時点)



玉島発電所 燃料受払計画(2021/1/10時点)

40

- 1月9日までの消費実績および1月10日以降の稼働見通しを反映したうえで、玉島2・3号について日毎の制約量を設ける燃料制約を設定しました。
- ただし、1月12日から1月16日の期間は、全国的に需給状況が厳しくなると想定したため、燃料制約の対象期間から除きました。



<設定した燃料制約>

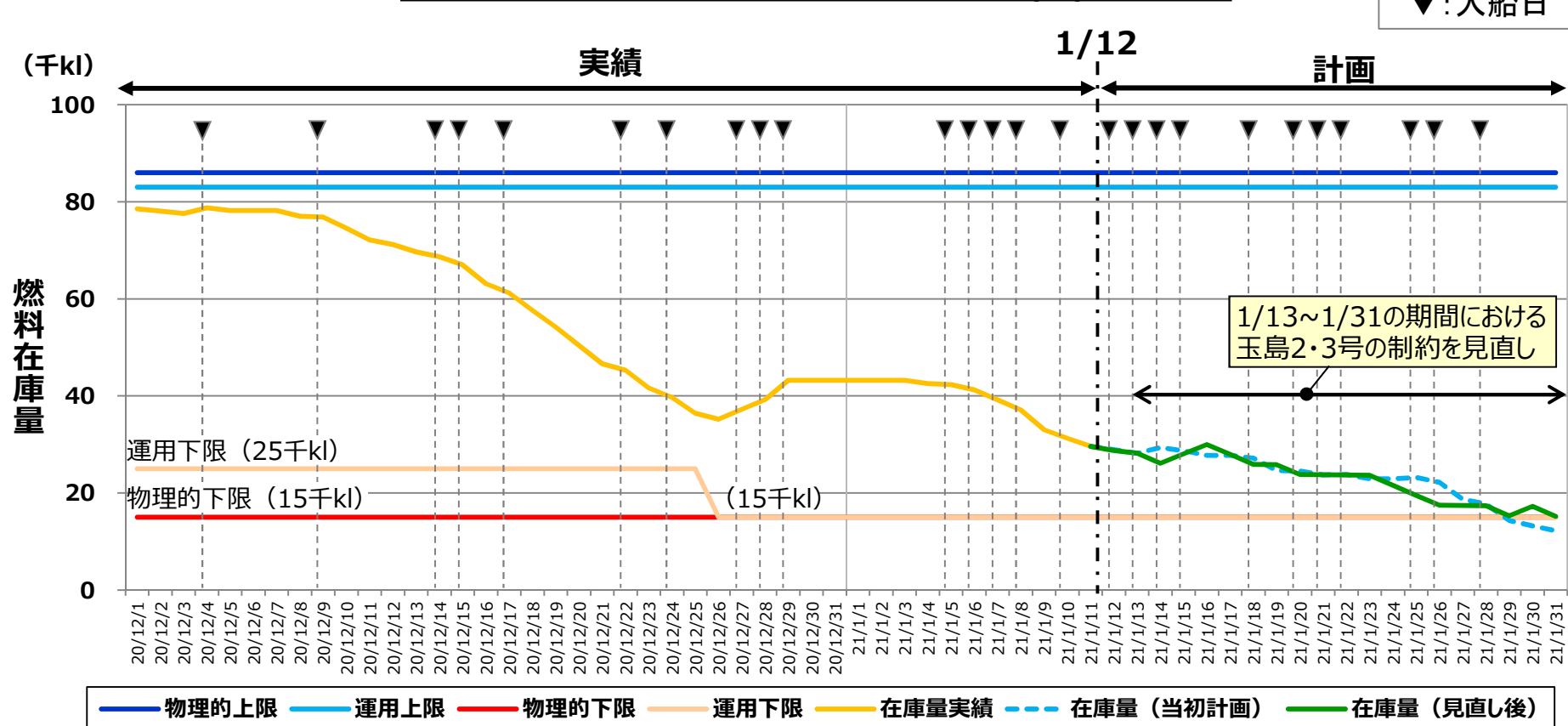
- 玉島2号 … 1/11および1/17~1/31 (利用率50%)
- 玉島3号 … 1/11 (利用率50%) , 1/17~1/31 (計画停止)

玉島発電所 燃料受払計画(2021/1/12時点)

41

■1月12日時点での需給状況と見通しを踏まえ、玉島2・3号の2台運転を1月中は継続できるように、1月13日以降の玉島2・3号の制約を見直しました。

玉島発電所重油タンクの在庫量の推移 (2021/1/12時点)



<設定した燃料制約>
玉島2・3号 … 1/13~1/31 (利用率40%)

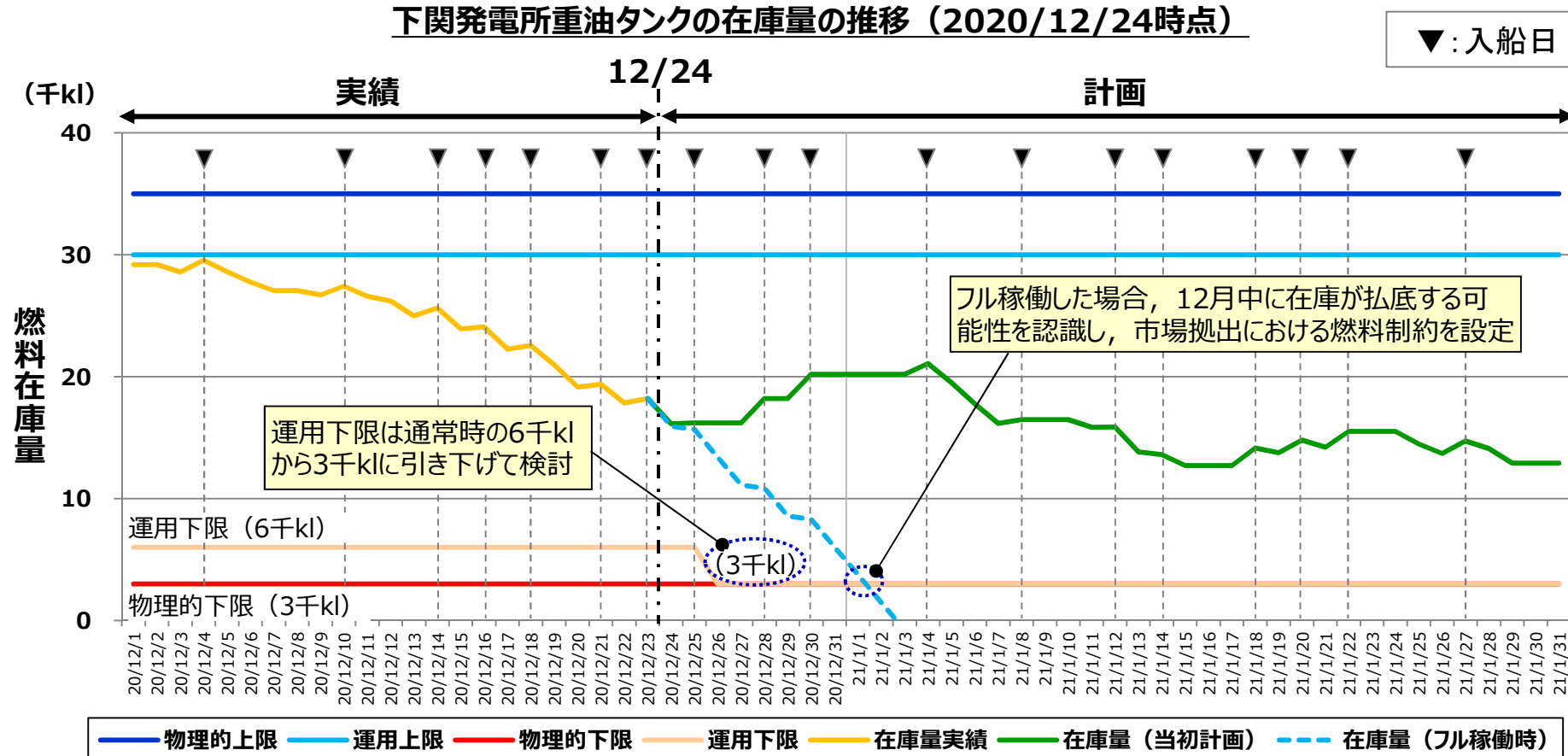
重油火力 (下関発電所)

下関発電所 燃料受払計画(2020/12/24時点)

43

- 12月中旬以降、寒波による需要増等により燃料在庫が急減し、年末以降の払出し量が増加すると12月中に在庫が払底する可能性を認識したため、12月26日から下関発電所の火力ユニット(下関2号)の市場拠出における燃料制約を設定しました。
- 運用下限は、燃料在庫が払底する可能性を認識したため、通常時の6千klから3千klに引き下げて検討していました。

下関発電所重油タンクの在庫量の推移 (2020/12/24時点)



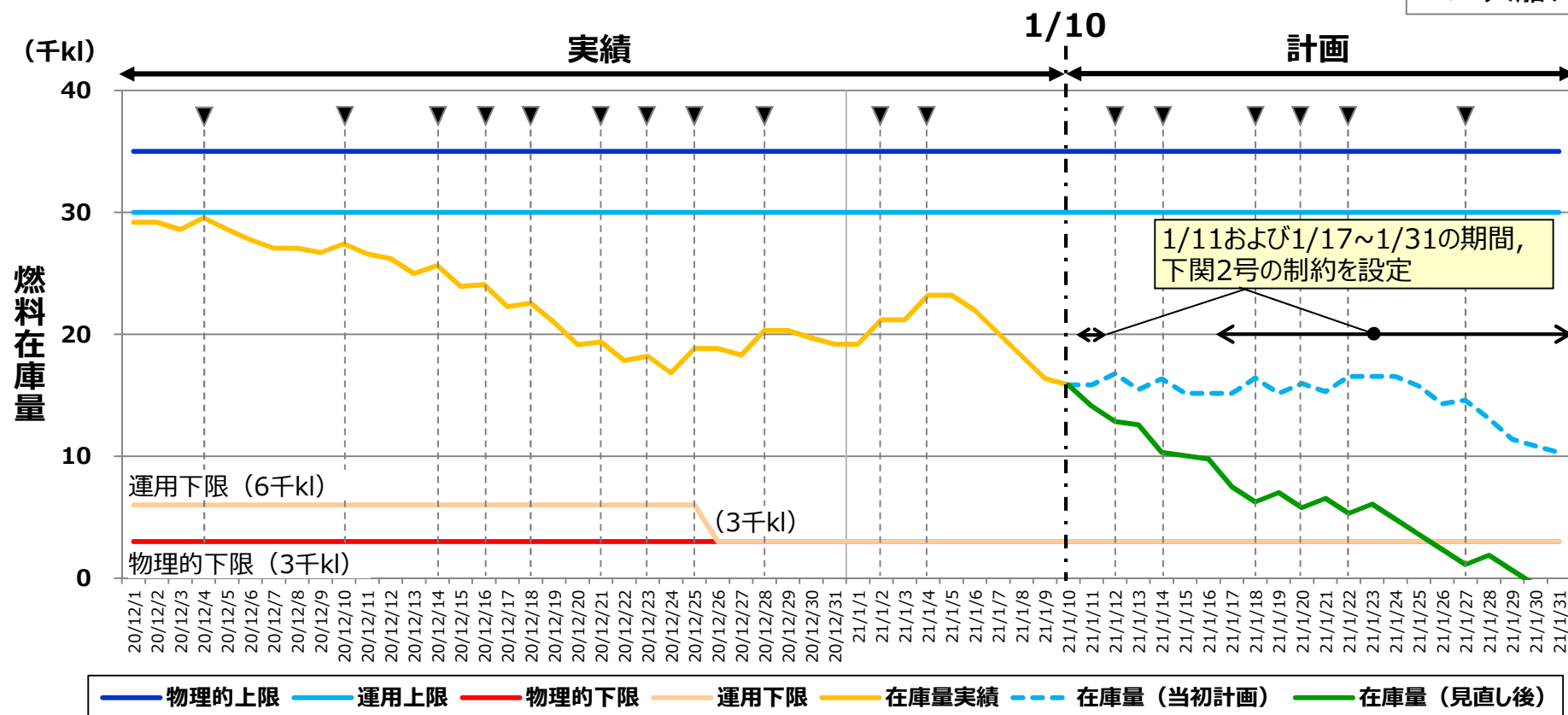
下関発電所 燃料受払計画(2021/1/10時点)

44

- 1月9日までの消費実績および1月10日以降の稼働見通しを反映したうえで、下関2号について日毎の制約量を設ける燃料制約を設定しました。
- ただし、1月12日から1月16日の期間は、全国的に需給状況が厳しくなると想定したため、燃料制約の対象期間から除きました。

下関発電所重油タンクの在庫量の推移 (2021/1/10時点)

▼:入船日



<設定した燃料制約>

下関2号 … 1/11および1/17~1/31 (利用率44%)

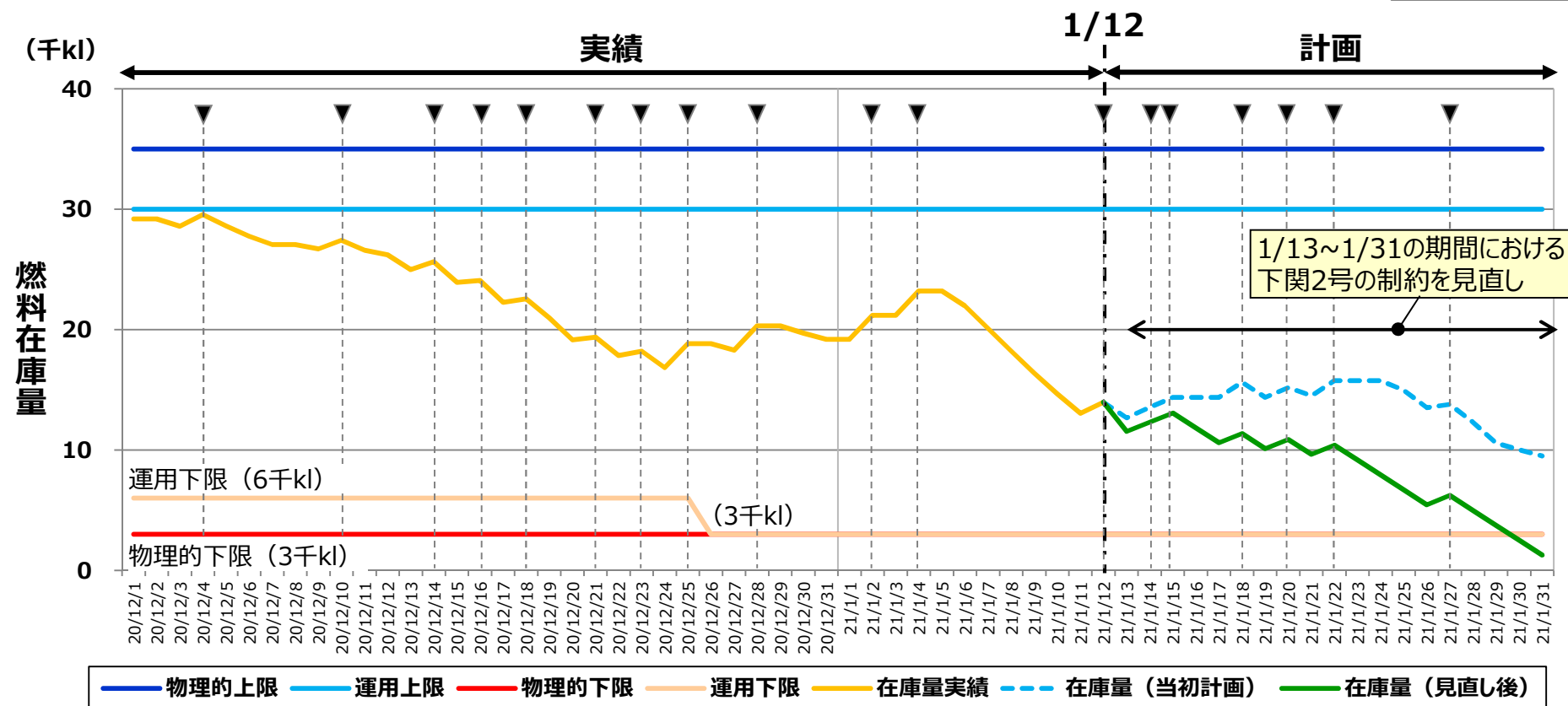
下関発電所 燃料受払計画(2021/1/12時点)

45

■ 1月12日時点での需給状況と見通しを踏まえ、下関2号の運転を1月中は継続できるように、1月13日以降の下関2号の制約を見直しました。

下関発電所重油タンクの在庫量の推移 (2021/1/12時点)

▼:入船日



<設定した燃料制約>

下関2号 … 1/13~1/31 (利用率44%)

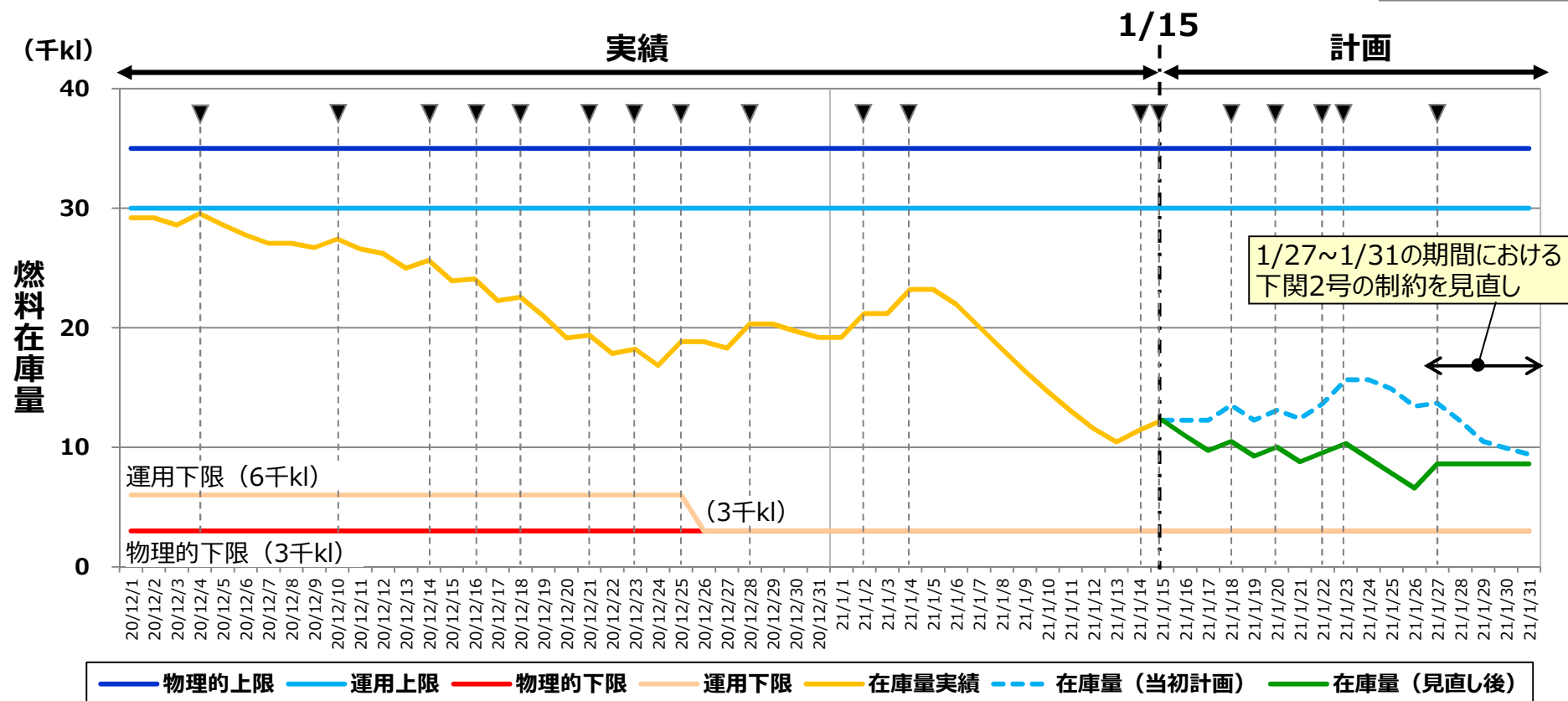
下関発電所 燃料受払計画(2021/1/15時点)

46

■1月14日までの払出実績を踏まえて、玉島発電所向けの配船を優先する検討をしていたことから、1月27日以降の下関2号の制約を見直しました。

下関発電所重油タンクの在庫量の推移 (2021/1/15時点)

▼:入船日



<設定した燃料制約>

下関2号 … 1/16~1/26 (利用率44%) , 1/27~1/31 (計画停止)